4CH H.264 スタンドアローンタイプ
DVR ADR-7604S/H

取扱説明書

バージョン **1.3**
(Japanese)

おことわり

この取扱説明書に記載する商品に関する情報は、予告なく変更することがあります。本書の作成には万全を期しておりますが、万一説明書に誤りや記載漏れがあった場合も、一切の責任及び義務を負いかねますので、ご了承ください。

本書は著作権を有しております。製造元の許可なく内容の一部を転載・複製することはできません。

目次

第 1 章: はじめに.....6
1.1 商品の概要.....6
1.2 商品の特徴.....6
1.4 製品構成.....7
第 2 章: システムの外観及びインストールの仕方.....9
2.1 フロントパネル.....9
2.2 リアパネル.....11
2.3 HDD のインストールの仕方.....13
第 3 章: メニュー.....15
3.1 メニューディスプレイ.....15
3.2 メニューディレクトリツリー.....16
第 4 章:メニュー設定.....19
4.1 時間.....20
4.2 録画.....22
4.3 予定表.....24
4.5 アラーム.....26
4.6 NETWORK.....28
4.7 詳細設定.....32
第 5 章 ライブディスプレイ.....45
第 6 章: バックアップ.....48
第 7 章: PTZ コントロール.....48
第 8 章: ファームウエア アップデート.....50
第 9 章: リモート監視と制御.....52
9.1 DVR のリモート制御.....53
9.2 リモート接続のトラブルシューティング.....61
付録 1: アラーム入力/出力.....62
付録 2: CF カード互換性リスト.....66
付録 3. DVR ファイルのバックアップから再生までの手引き.....67

第 1 章: はじめに

1.1 商品の概要

世界中で監視カメラの需要が伸びていることを受けてデザインされた 7640S/7604H は、高機能の 4ch スタンドアローンタイプのデジタルビデオレコーダーです。H.264 の圧縮フォーマットを採用し、更に高画質に。ハードディスクの容量は変わらないものの、録画時間が更に長くなりました。また、使いやすい UI デザインのため、コンピューターの扱いに慣れていないユーザーにも簡単に操作出来る DVR です。特に、大容量の SATA/ eSATA インターフェイスを搭載し、各ポート 32TB まで長期間にわたって録画出来ます。防犯カメラを買うなら、この高画質の 4ch･H.264DVR で決まりです。

1.2 商品の特徴

- H.264 圧縮フォーマット、最大 60fps/120fps ：D1 録画
- 映像 4ch.リアルタイム録画・表示
- 大容量 SATA/ eSATA ストレージをサポート
- VGA 出力
- ペンタプレックス機能: ライブ、録画、再生、バックアップ、ネットワーク
- 各チャンネルの解像度、フレームレート、画質、録画モードの独立した設定
- USB 2.0 ドライブ、CF カード、DVD、映像データのバックアップのためのネットワークをサポート
- 多彩な録画モード
- GUI と多言語 OSD を搭載
- IR リモートコントロール
- マウスコントロール
- 電子メールでアラーム通知
- 3G モバイル監視
- CMS (オプション)をサポート

1.3 商品仕様

仕様項目		7604S	7604H
ビデオ	ビデオ入力	4 (BNC)	
	ループ出力	4 (BNC)	
	メインモニター出力	1 (BNC), 1 (VGA), S ビデオ(オプション)	
	コールモニター出力	1 (BNC)	
	映像圧縮形式	H.264	
	画面表示	全画面、4 分割	全、4 分割、PIP 画面
オーディオ	オーディオ入力	4	
	オーディオ出力	1	
録画	解像度 (調節可能)	D1, Half-D1, CIF	
	FPS	60fps(D1), 120fps(Half-D1), 120fps(CIF)	120fps(D1), 120fps(Half-D1), 120fps(CIF)
	モード	マニュアル、スケジュール、アラーム、モーション、イベント、常時録画	
再生	FPS	60fps(D1), 120fps(Half-D1), 120fps(CIF)	120fps(D1), 120fps(Half-D1), 120fps(CIF)
ストレージ	内蔵 HDD	SATA HDD1 基(3.5")をサポート	
	外付け	eSATA ポート 1 基	
バックアップデバイス	USB 2.0 ポート	**2** (for USB 2.0 ドライブ、DVD-RW 、USB マウスに対応)	
	DVD-RW をサポート	なし	外付け (USB/ eSATA)
	CF カードスロット	なし	あり
アラーム	アラーム入力	4	
	アラーム出力	1	
ネットワーク機能	リモートライブ監視	あり (IE & Firefox を介して)	
	3G 監視	Yes	
	CMS	なし	あり
PTZ	Pelco-D, Pelco-P プロトコル		
電源＜消費電力	DC 19V <60W		
外観寸法	195(W) x 65(H) x 183(D) mm		

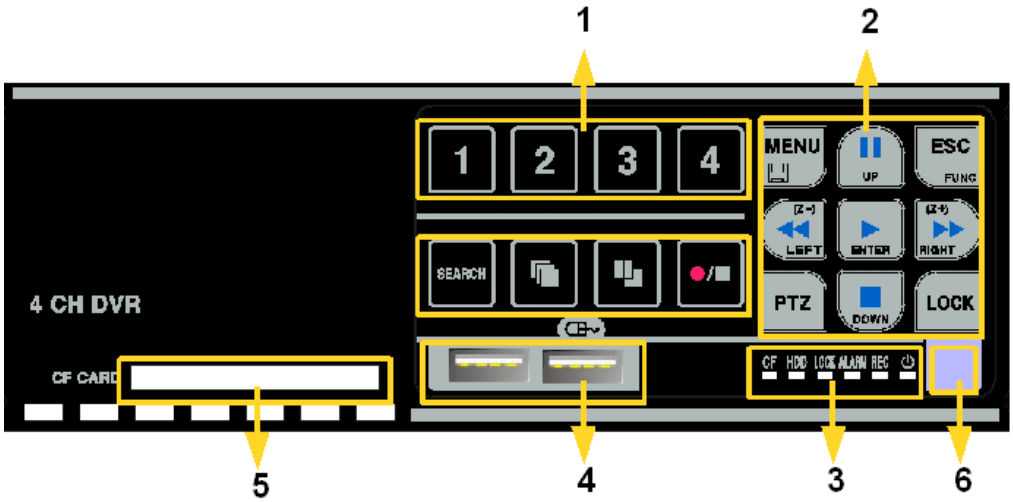
1.4 製品構成

- 4ch デジタルビデオレコーダー x1
- 専用 AC アダプター & AC コード x1
- ネジ x1 (HDD 取付け用)
- サポート CD-ROM x1
- 取扱説明書 x1

- IR リモコン x1 (オプション)
- マウス x1 (オプション)

第 2 章: システムの外観及びインストールの仕方

2.1　フロントパネル



1. **チャンネル選択ボタン**
   - CH1からCH4まであり、選択したチャンネルをモニターに表示します
2. **ファンクションボタン、方向ボタン、Enter ボタン**

   a) MENU ボタンを押すとメインメニューになります。

   b) ESC ボタンを押すと前のメニューに戻ります。

   c) PTZ (パン、チルト、ズーム)

   パン、チルト、ズーム機能を備えたカメラで、一つあるいは複数の DVR 映像入力接続が可能です。カメラの PTZ 機能を調整するためには、先に PTZ ボタンを押し、次に方向ボタンでパン、チルトを操作してください。

   d) LOCK

   フロントパネルを操作する人を限定するために、ロックボタンが役立ちます。このボタンを押すと、フロントパネル上の全てのボタン操作が停止し、同時に LOCK ライトが点灯します。ロックを解除するには、ロックボタンを押した後にパスワードの入力が必要です。正しいパスワードが入力されると、ボタンロックが解除されます。

   e) カーソルボタンを押して、メニュー上で左、右、上、下へと移動させます。

   f) ENTER ボタンはメニュー上でパラメーターを選ぶ時に使います。また、録画したファイルから検索し、再生するファイルをリストから一つ選んで再生するときにも ENTER ボタンを使います。

   g) REW(◄◄)、FF(►►)、PLAY(►)、PAUSE (II)、STOP(■)ボタン

   REW ボタンで高速巻き戻し再生をします。2～16 倍までの再生スピードをサポート。

   FF ボタンで高速早送り再生をします 2～16 倍までの再生スピードをサポート。

   PLAY ボタンで一時停止の状態から再び再生します。

   PAUSE ボタンで再生を一時停止します。

   STOP ボタンで再生を停止します。

3. **ファンクションボタン**

a) SEARCH ボタンで再生サブメニューを表示し、再生する適切な録画ファイルを検索します。

b) 連続表示ボタン

1CH ディスプレイモードの時に、このボタンを押すと、ディスプレイ設定メニューで設定したリピート回数だけ、各チャンネルが連続して表示されます。

c) ディスプレイモード選択

ディスプレイモード選択ボタンはディスプレイモードの切替え(１画面または４分割)に使います。

d) REC/STOP ボタン

●/■ ボタンは緊急録画が必要な時に押すと録画がスタートし、もう一度押すと録画を停止します。DVR が緊急録画をしているときは、

が画面の右上に表示されます。

ご注意: 各チャンネルにそれぞれの録画モードが設定されていても、●/■ボタンを押すと全てのチャンネルで緊急録画が始まります。

4. **LED 表示装置**

a) POWER

電源が“オン”の時は、緑の LED ライトが“点灯”します。

b) REC

録画中は、赤の LED が“点灯”します。

c) ALARM

モーション検知、又はアラームが作動すると、赤の LED が“点灯”します。

d) LOCK

ロックボタンが作動している時は、赤の LED が“点灯”します。

e) HDD

録画中、又は再生中に、赤の LED が“点滅”します。

f) CF

CF カードが挿入されている時は、赤の LED が“点灯”します。ファームウェアのアップグレード、又はバックアップの時は、点滅します

5. **USB ポート**

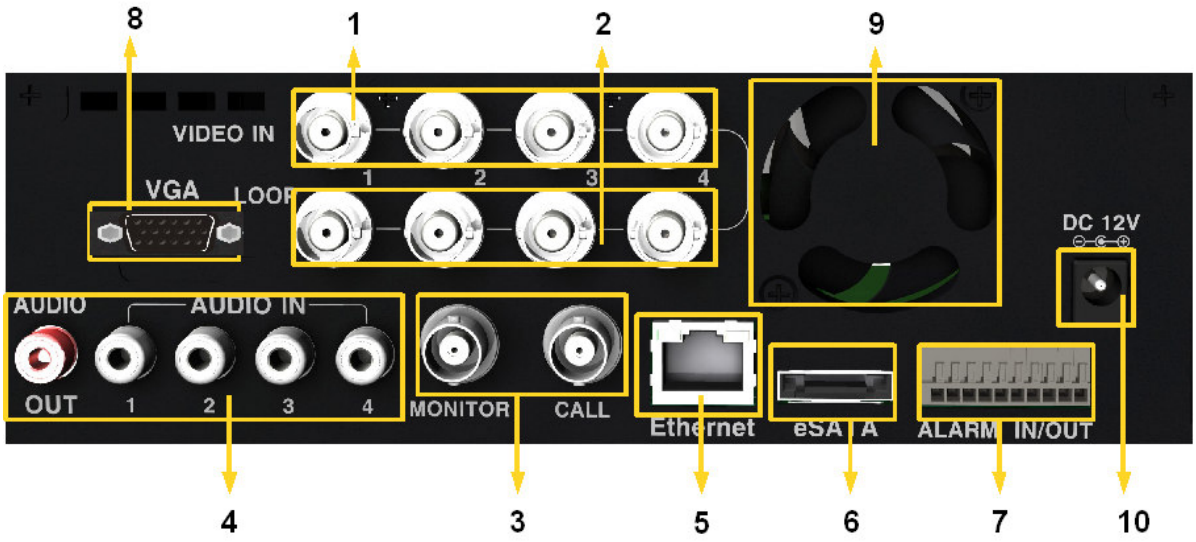
データのバックアップや FW のアップグレードの時に USB2.0 ドライブに差し込みます。また、USB DVD-RW 及び USB マウスもサポートします。

6. **CF カードスロット(7604H)**

- データのバックアップや FW のアップグレードの際に CF カードを挿入します。
- CF 互換性リストについて、付録 2 を参照してください。

7. **リモコンレシーバー** リモコンのセンサー入力ウインドウ

2.2　リアパネル



1) **4CH ビデオ入力**
BNC コネクターによる 4ch コンポジットビデオ入力。4ch ビデオ入力には NTSC と PAL ビデオソースの混合はできません。混合すると、DVR が正確に動作しません。

2) **4CH ループスルー出力**
BNC コネクターによる 4ch コンポジットビデオ出力。ループスルービデオ出力から他のビデオ装置への接続が必要な場合は、4ch ループスルー出力が役に立ちます。

3) **BNC コネクターによる 2CH コンポジットビデオ出力**
“MONITOR”と表示されてい端子をメインモニターに接続します。“CALL”と表示されている端子はコールモニターに接続し、接続されている全ビデオチャンネルを順番に表示し、イベントが発生したチャンネルをポップアップ表示します。

4) 1)4CH オーディオ入力(RCA)と 1CH オーディオ出力(RCA)
RCA ジャックによるオーディオ信号入力と出力。DVR がオーディオ出力を増幅しないため、オーディオソースからオーディオ入力に、オーディオ出力からアンプに接続します。オーディオ再生にはスピーカー付きのアンプが必要です。アンプソースから又はマイクから直接オーディオに入力します。

5) イーサーネットポート
RJ-45 ジャックを使って Cat5 ケーブルを DVR コネクターに接続します。インターネットブラウザを使い、ネットワークを介してリモートライブ監視や、遠隔地から設定の作業を行うことが出来ます。

6) **外部ストレージ拡張のための eSATA ポート**
eSATA デバイスは、ストレージ拡張をサポートし、eSATA ケーブルを介して eSATA ポートに接続出来ます。DVR の電源を入れる前に、外部ストレージデバイスの電源が入っていることを確認してください。

7) **アラーム入力、リレー出力、RS-485 用の端子**

a) PTZ コントロール用の RS-485

b) NO、NC 内蔵の 4 アラーム入力、及び 1 リレー出力

ご注意: ピンの説明に関しては付録 1 を参照ください。

8) **VGA 出力(オプション)**

VGA 出力は、アナログ R、G、B と同期信号を受信する革新的なスキャンを通して LCD モニターや CRT モニターに直接接続できます。

9) Fan

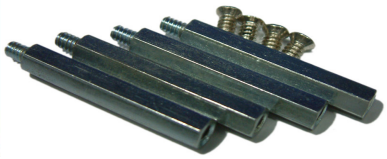
システムファン.

10) **電源入力(アダプターより)**

アダプターを DVR の電源(DC19V/5A)に接続します。

2.3 HDD のインストールの仕方

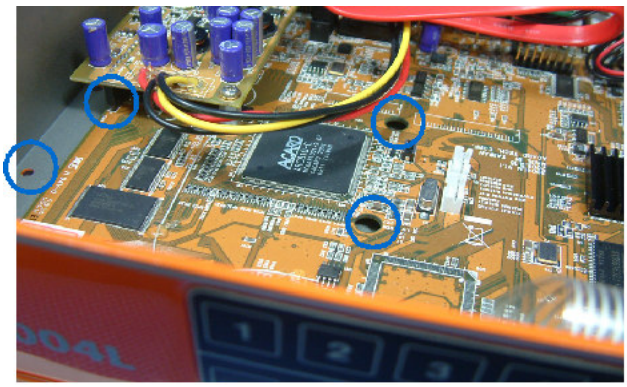
1. 1.ドライバーでフロント、及びリアーパネルの上部にある 4 つのネジを緩め、天板を持ち上げます。



4 つのスタンドとネジは、ネジパックに入っています。DVR に HDD を装着するときに使います。

2. 1.ネジパックに入っている、4 つのスタンドを取り出し、先に 3.5” HDD に取り付けます。

3. メインボードの構造を良く見て、SATA ケーブルと電源ケーブルを調節します。また、4 つのスタンド(図中の青色で囲んでいる 4 つの丸印)の位置を確認し、メインボード上の他のコンポーネントにあたらないようにして下さい。



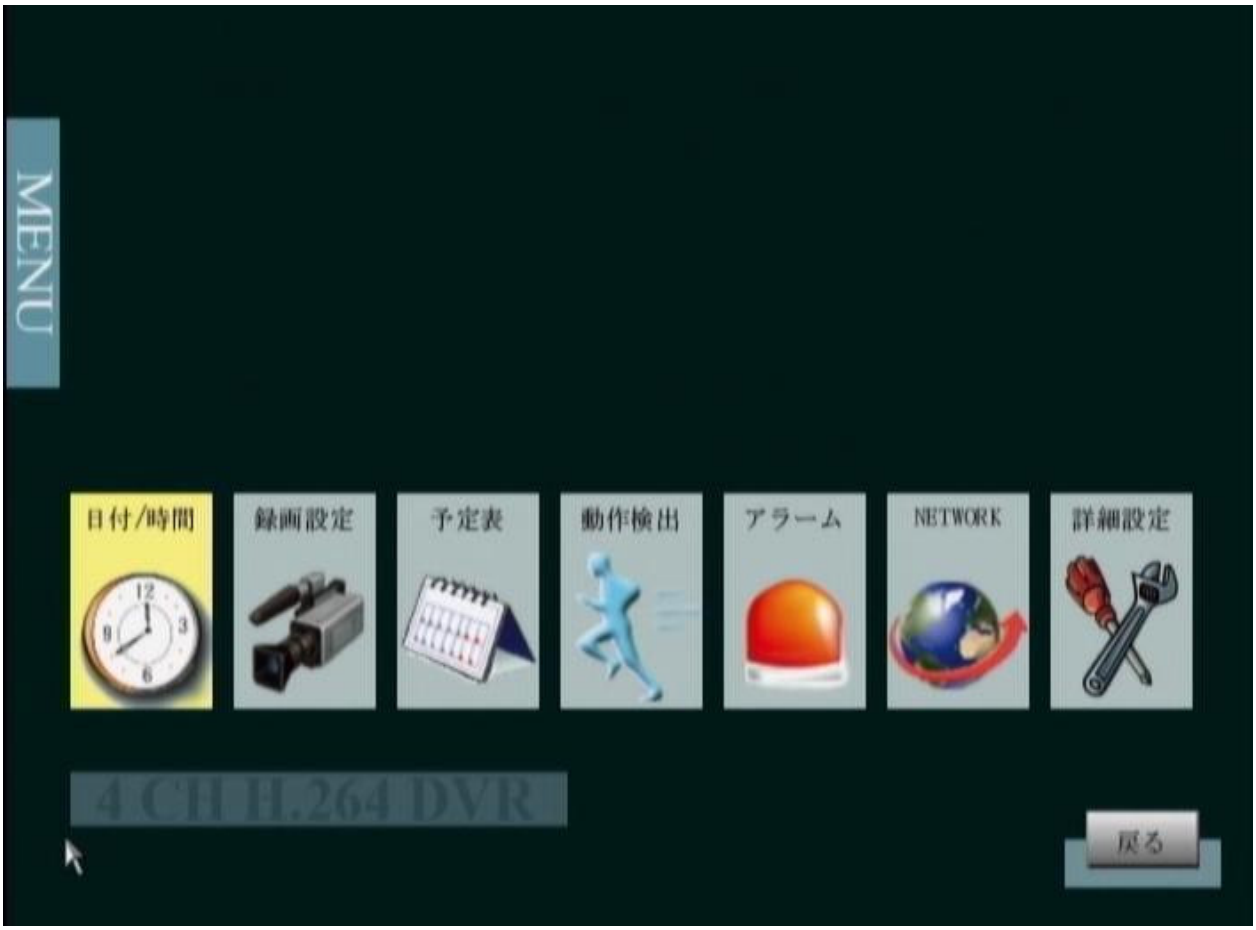
4. SATA ケーブルと電源ケーブルを SATA・HDD に接続し、HDD をゆっくりとシャシに装着します。4 つのスタンドを 4 つのネジ穴に合わせます。

5. HDD を所定位置に置き、シャシを裏返します。ネジパックに入っている 4 つのネジで、4 つのスタンドを下図のように締めます。

6. 表に戻し、天板を被せて閉じます。最初に DVR から取り外した 4 つのネジを再び締め戻します。これで HDD のインストールは完了です。

第 3 章: メニュー

3.1 メニューディスプレイ



番号	アイコン	説明
1	日付/時間	システムの時間/日付の設定
2	録画設定	録画パラメータ設定
3	予定表	スケジュール録画モードで週間録画スケジュールの設定
4	動作検出	モーション録画モードでモーションエリア/感度の設定
5	アラーム	アラーム入力タイプの選択とブザーの設定
6	NETWORK	ネットワークパラメータの設定
7	詳細設定	システム/ディスプレイ/カメラ/ディスクフォーマット/バックアップの詳細設定

3.2 メニューディレクトリツリー

1.日付/時間
- 1.1 日付設定
- 1.2 時間設定
- 1.3 日付表示形式
- 1.4 時間表示形式
- 1.5 TIME ZONE SETUP
- 1.6 夏時間設定

2.録画設定
- 2.1 解像度
- 2.2 FPS
- 2.3 録画画質
- 2.4 録画モード
- 2.5 記録時間
- 2.6 ライブ音声

3.予定表

4.動作検出
- 4.1 チャンネル
- 4.2 検出感度
- 4.3 感知範囲

5.アラーム
- 5.1 アラーム入力
- 5.2 ALARM OUTPUT
- 5.3 ブザー
  - 5.3.1 プッシュ音
  - 5.3.2 アラーム
- 5.4 EMAIL NOTIFICATION

6.NETWORK
- 6.1 IP モード
- 6.2 IP アドレス
- 6.3 サブネットマスク
- 6.4 ゲートウエイ
- 6.5 ポート
- 6.6 NETWORK
- 6.7 DDNS
- 6.8 PPPoE
- 6.9 EMAIL SETTING
- 6.10 ビデオ解像度のストリーミング

7.詳細設定
- 7.1 システム

7.1.1 言語
7.1.2 映像形式
7.1.3 HDD 上書き設定
7.1.4 システム情報
7.1.5 イベントログ
7.1.6 ファームウエアアップデート
7.1.7 設定値の保存
7.1.8 USER MANAGEMENT
7.1.9 PERERCORD
7.1.10 DVR 番号
7.2 画面表示
7.2.1 カメラ名表示
7.2.2 録画モード表示
7.2.3 ツールバー表示設定
7.2.4 画面切換え時間
7.2.5 日付表示位置
7.2.6 VGA MONITOR RATIO
7.2.7 RECORD DATE TIME
7.3 カメラ
7.3.1 カメラ
7.3.2 カメラ名
7.3.3 輝度
7.3.4 コントラスト
7.3.5 色相
7.3.6 彩度
7.3.7 詳細設定
7.4 ディスクフォーマット
7.5 検索&バックアップ
7.6 アカウント/パスワード
7.7 工場初期設定のロード

第 4 章:メニュー設定

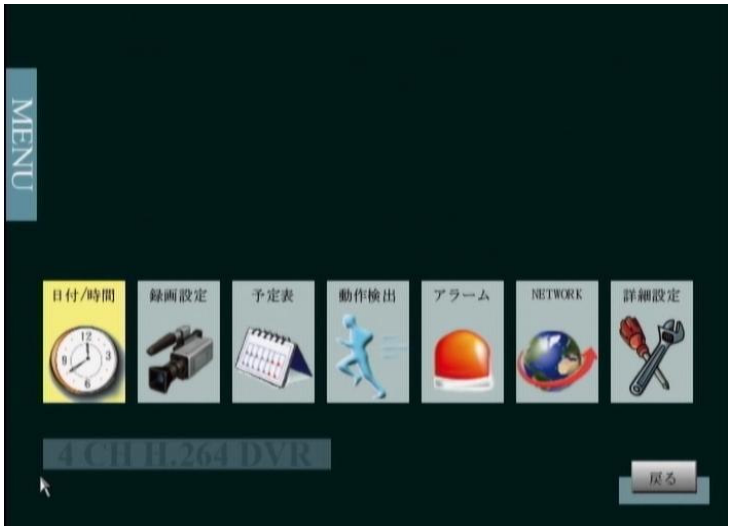
初めて DVR をお使いになるときには、初期設定をしてください。初期設定には、時間と日付、録画パラメーター、ネットワークなどが含まれます。
まず最初に DVR のフロントパネルにある MENU ボタンを押し、メインメニューから設定を行います。

ご注意: 管理者ロック（AdminLock）が ON になっている場合(デフォルトでは OFF)、メインメニューにアクセスするには、パスワートが必要です。システムの詳細設定にて管理者ロックの設定を ON 又は OFF にできます。

ご注意:デフォルトのパスワードは 111111 です。

- **MENU** を押すと、DVR のメニューにアクセス出来ます。MENU から戻りたい場合は、ESC を選択します。
- メニューではカーソルボタンで移動させ、選択したい項目が決まったら ENTER を押します。
- **SAVE & ESC** : 設定事項をセーブしてから、一つ前のメニューに戻ります。
- **ESC**: 設定事項をセーブせずに、一つ前のメニューに戻ります。
- **SAVE & EXIT**: 設定事項をセーブしてから、ライブディスプレイに戻ります。
- **DEFAULT**: ページ上の全ての設定事項が初期設定に戻ります。

4.1 時間



時間の設定は、メニューでカーソルボタンを使ってハイライトを移動させ、日付/時間アイコンのところで ENTER ボタンを押します。時間設定メニューが下の図のように表示されます。

1) 日付設定:

時間設定メニューで、上下カーソルボタンを使って、ハイライトを日付設定に移動させます。ENTER ボタンで確定すると、年・月・日が変更できます。システムの日付は OSD キーボードで入力できます。数字や文字はカーソルと ENTER ボタンで選択して入力できます。正しい日付を入力したら、適用して戻るを押してセーブします。(マウスで入力することも出来ます)

2) 時間設定:

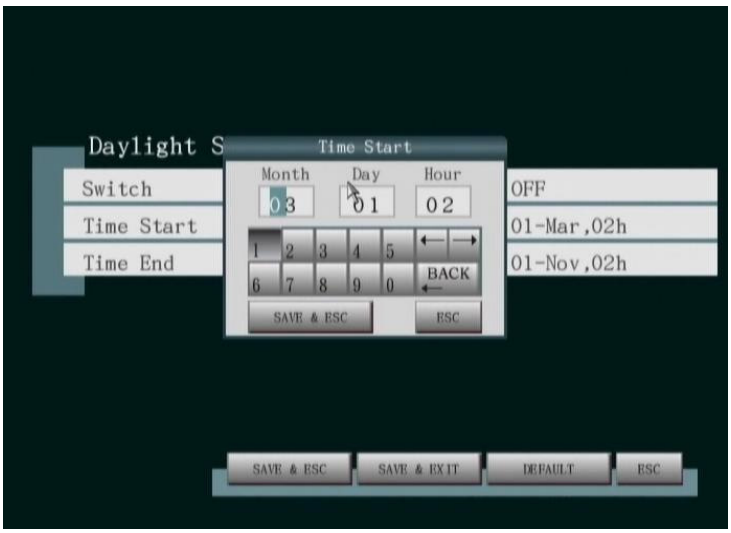
時間設定メニューで、上下カーソルボタンを使って、ハイライトを時間設定に移動させます。**ENTER** ボタンで確定すると、時間・分・秒が変更できます。システムの時間は **OSD** キーボードで入力できます。数字や文字はカーソルと **ENTER** ボタンで選択して入力できます。正しい時間を入力したら、適用して戻るを押してセーブします。

(マウスで入力することも出来ます**)**

3) 日付表示フォーマット: YY/MM/DD, MM/DD/YY, DD/MM/YY
時間設定メニューで、上下カーソルボタンを使って、ハイライトを日付表示形式に移動させます。ENTER ボタンで確定すると、日付表示形式が変更されます。上下カーソルと ENTER でパラメーターを選択します。

4) 時間表示フォーマット: 12 時間、24 時間
時間設定メニューで、上下カーソルボタンを使って、ハイライトを時間表示形式に移動させます。ENTER ボタンで確定すると、時間表示形式が変更されます。上下カーソルと ENTER でパラメーターを選択します。

5) タイムゾーンの設定
時間設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトアイコンを Time Zone Setup に移動させます。ENTER ボタンを押すと、タイムゾーンの設定が変更できます。上下ボタンと ENTER を使ってパラメーターを選択します。(マウス入力もできます)



6) 夏時間
時間設定メニューで、上下カーソルボタンを使って、ハイライトを夏時間設定に移動させます。ENTER ボタンで確定すると、夏時間が変更されます。夏時間の ON/OFF、開始終了時間もこのページで設定します。

4.2 録画

録画の設定は、メニューでカーソルボタンを使ってハイライトを移動させ、録画設定アイコンのところで ENTER ボタンを押します。録画設定メニューが画面に表示されます。

1) **解像度:** CIF, HALF-D1, D1
解像度を設定するチャンネルにカーソルボタン(上/下/左/右)を使ってカーソルを移動させます。ENTER ボタンを押して確定すると、そのチャンネルの録画解像度が変更されます。上下カーソルと ENTER でパラメーターを選択します。

2) **FPS:** 30, 15, 10, 7.5, 6, 5, 3, 2 (NTSC)
FPS を設定するチャンネルにカーソルボタン(上/下/左/右)を使ってカーソルを移動させます。ENTER ボタンを押して確定すると、そのチャンネルの録画フレーム数が変更されます。上下カーソルと ENTER でパラメーターを選択します。

3) **録画画質:** HIGHEST、HIGH、NORMAL、LOW
録画画質を設定するチャンネルにカーソルボタン(上/下/左/右)を使ってカーソルを移動させます。ENTER ボタンを押して確定すると、そのチャンネルの録画画質が変更されます。上下カーソルと ENTER でパラメーターを選択します。

4) **録画モード:** MANUAL、ALWAYS、動作検出、アラーム、EVENT、予定表、**DISABLE**
録画モードを設定するチャンネルにカーソルボタン(上/下/左/右)を使ってカーソルを移動させます。ENTER ボタンを押して確定すると、そのチャンネルの録画モードが変更されます。上下カーソルと ENTER でパラメーターを選択します。

録画モード	アイコン	説明
MANUAL		MANUAL モードの時は、フロントパネルの REC/STOP ボタンを押すと、チャンネルの録画を開始します。

ALWAYS		ALWAYS モードの時は、システムの電源が入るとチャンネルの録画を開始します。
動作検出		動作検出モードの時は、物体の移動が検知されるとチャンネルの録画を開始します。
アラーム		アラームモードの時は、センサーが感知するとチャンネルの録画を開始します。
EVENT		EVENT モードの時は、動作検出、又はセンサー感知するとチャンネルの録画を開始します。
予定表		予定表モードの時は、スケジュールメニューで設定された毎週の録画スケジュールに従ってチャンネルの録画を実行します。
DISABLE		DISABLE モードの時は、チャンネルの録画を一切しません。

ご注意: ライブ監視中の画面には、それぞれのチャンネルに、設定されているモードアイコンが表示されます。

5)　記録時間: 5s、10s、15s、20s、25s、30s、1m、3m、5m（s : 秒; m : 分）

記録時間を設定するチャンネルにカーソルボタン(上/下/左/右)を使ってカーソルを移動させます。ENTER ボタンを押して確定すると、そのチャンネルのイベント発生後の録画時間が変更されます。上下カーソルと ENTER でパラメーターを選択します。

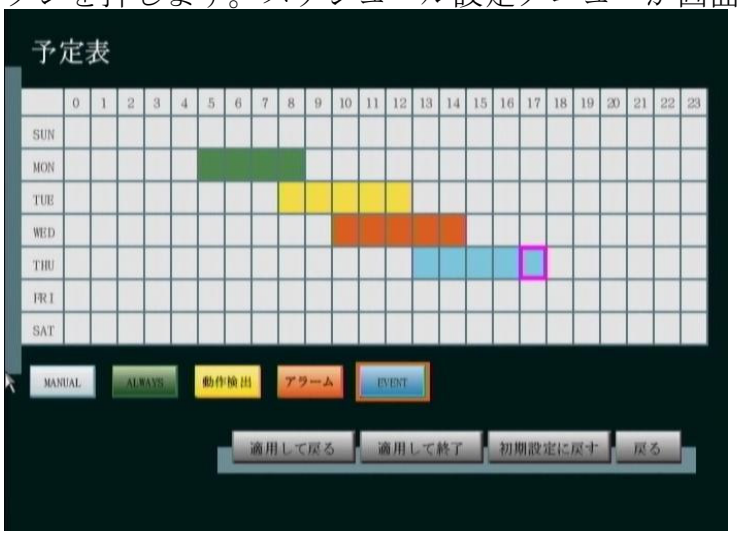
ご注意:オプションは全て、各チャンネルの設定に適用されます。

6)　ライブ音声:

特定チャンネルをオン、または全てのチャンネルをオフ（初期設定がオフ）に設定ください。音声の調整にはリモコンを使用することができます。設定は、以下のように行ってください：ライブ画面でチャンネル１～４の１つをオン/オフにするために、リモコンの「Func」キー+番号キー（１～４）+「Enter」キーを押す。

4.3　予定表

スケジュールの設定は、メニューでハイライトを TIME アイコンに移動させ、ENTER ボタンを押します。スケジュール設定メニューが画面に表示されます。



録画設定で予定表録画モードが設定されている場合、DVR はこのページで決定されたスケジュールに従い録画を実行します。録画時間は 1 時間刻みとなっており、一週間(日曜～土曜)の録画モードを 1 時間ごとに設定出来ます。録画スケジュールの設定手順は次の通りです。

<週間録画スケジュール設定の手順>

ステップ 1: 録画モードの選択: MANUAL、ALWAYS、動作検出、アラーム、EV**ENT**
録画スケジュールの設定は、まず最初にハイライトアイコンを希望の録画モードへ移動します。デフォルトでは MANUAL(手動)となっているので、上/下/左/右ボタンを使って希望の録画モードを選択し、ENTER ボタンを押して確定します。

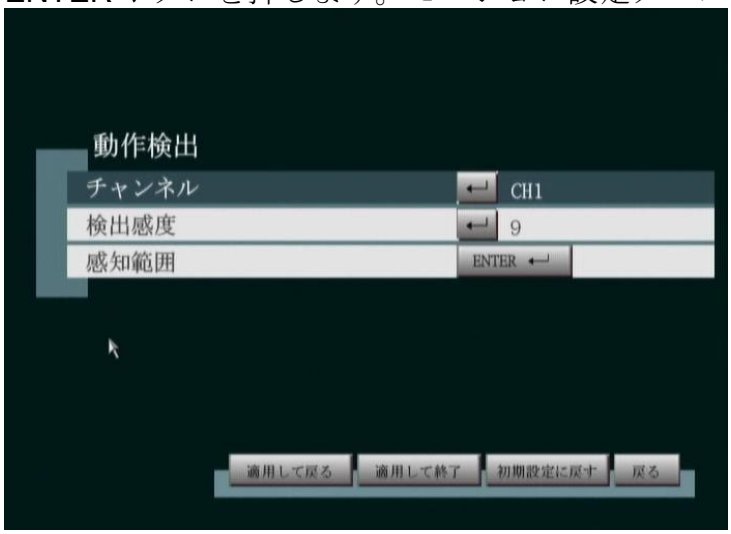
ご注意: 選択されたモードはオレンジ色にハイライトされます。

ステップ 2: スケジュール録画モード
録画モードが確定したら、上/下/左/右ボタンを使って希望の時間のマスへ移動させ、ENTER ボタンを押すと、選択していた録画モードに反映します。確定した録画時間のマスは、選択していた録画モードの色に切り換わります。同様の手順で、それぞれの時間の録画モードを設定してください。

ステップ 3: 録画スケジュールの保存
それぞれの時間の録画モードが設定されたら、適用して戻る又は適用して終了を選び、スケジュール設定を終了してください。チャンネルの録画モードが「予定表」となっている場合、このページで設定されたスケジュール内容に従い録画モードが変更されます。

4.4 動作検出

モーション検知の設定は、メニューでハイライトを動作検出アイコンに移動させ、ENTER ボタンを押します。モーション設定メニューが画面に表示されます。



1) チャンネル:

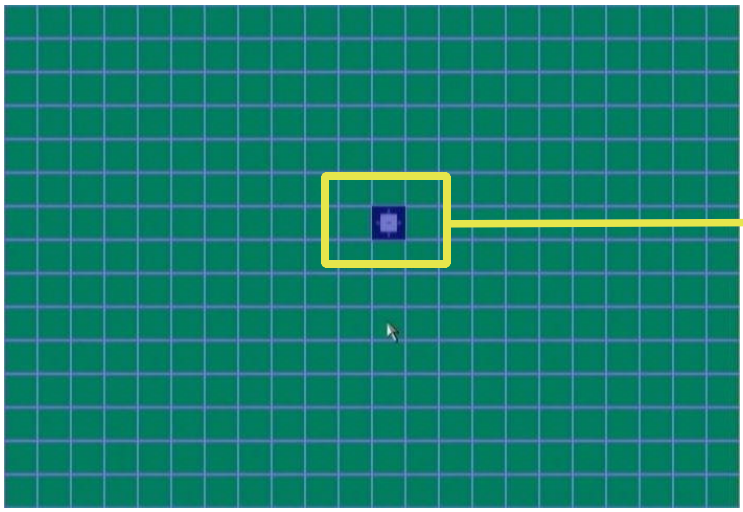
検出感度と感知範囲を設定したいチャンネルを選んでください。

2) 検出感度: レベル 1～16

設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトを検出感度に移動させます。ENTER ボタンを押して確定すると、動体検出感度が変更されます。上下カーソルと ENTER でパラメーターを選択します。

3) 感知範囲

設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトを感知範囲に移動させます。ENTER ボタンを押して確定すると、感知範囲設定メニューが表示されます。



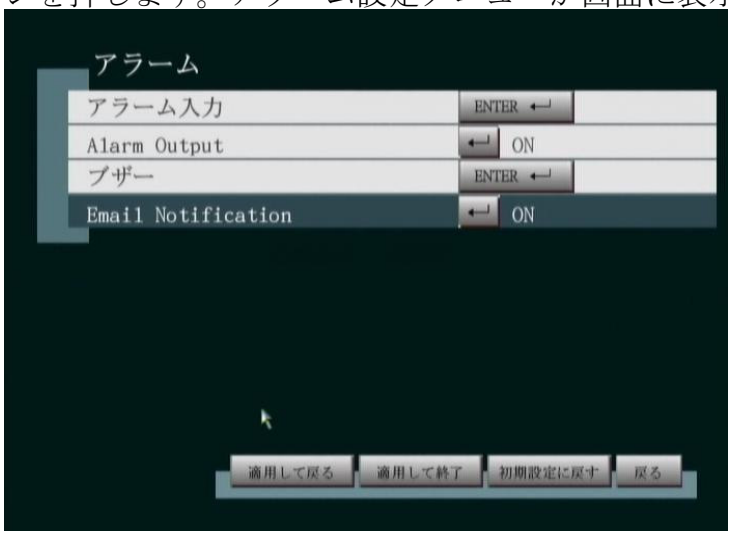
ENTER を押して設定モード(+又は－)を変更し、次にカーソルボタンで検知エリアの追加、又は取り消しを行ってください。

ご注意：＋は追加、
－は取り消しです

設定が完了したら、適用して戻るボタンを押して設定を保存してから前ページに戻ります。設定を保存せず前ページのメニューに戻る場合は ESC ボタンを押します。

4.5　アラーム

アラームの設定は、メニューでハイライトをアラームアイコンに移動させ、ENTER ボタンを押します。アラーム設定メニューが画面に表示されます。

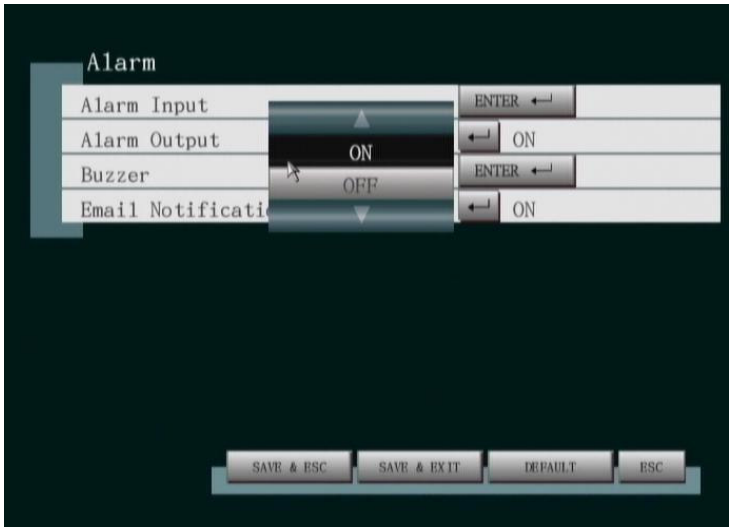


4.5.1 アラーム入力

アラーム設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトをアラーム入力に移動させます。ENTER ボタンを押すと、アラーム入力タイプの設定メニューが表示されます。
上下ボタンを使って、設定したいチャンネルに移動させます。ENTER ボタンを押すと、アラーム入力タイプが変更できます。上下ボタンと ENTER を使ってアラーム入力タイプの NC 又は NO を選択します。

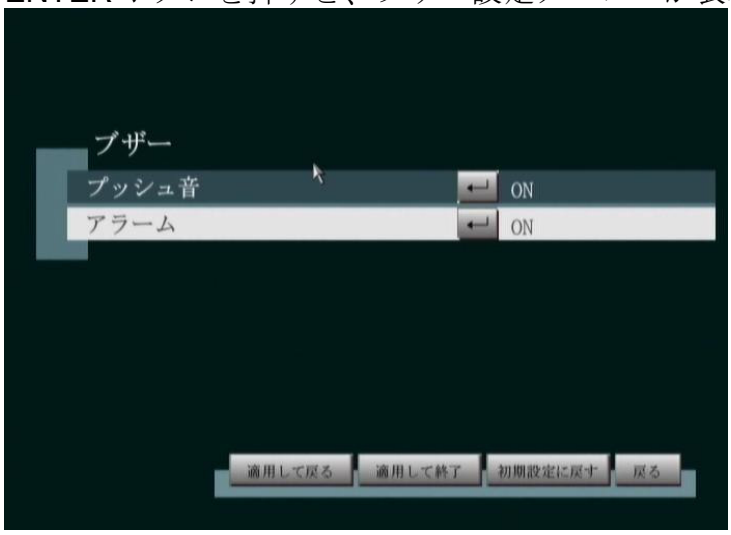
4.5.2 ALARM OUTPUT

“Alarm Output”をオン又はオフに設定できます。オンの時に“アラーム入力”を検知すると、“Alarm Output”が反応し作動します。オフの場合は“アラーム入力”を検知しても、“Alarm Output”は作動しません。



4.5.3 ブザー

アラーム設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトをブザーに移動させます。
ENTER ボタンを押すと、ブザー設定メニューが表示されます。



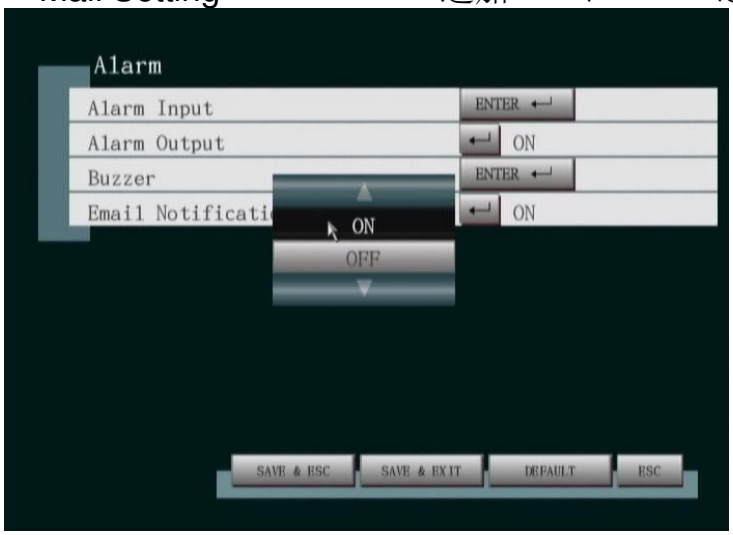
1) **プッシュ音:** オン、オフ
   キー入力音の有無を設定できます。オフに設定すると、フロントパネルのボタンを押しても、入力音はしません。

2) **アラーム:** オン、オフ

アラームのブザー音の有無を設定できます。オフに設定すると、アラーム発生時でもブザーは鳴りません。

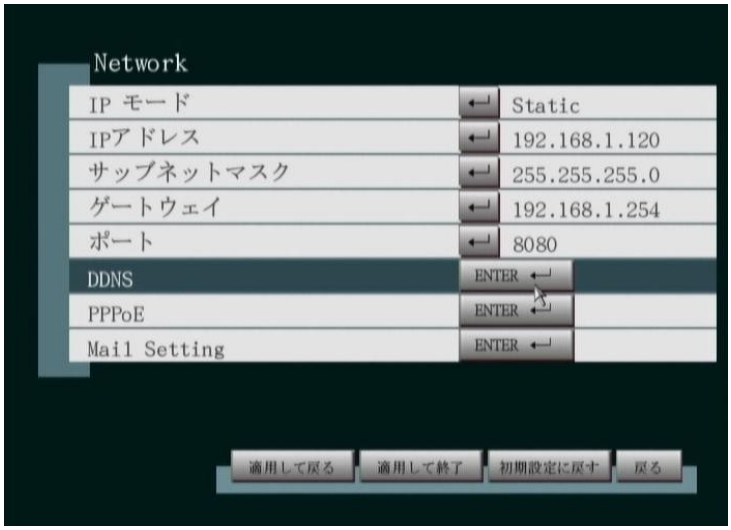
4.5.4 EMAIL NOTIFICATION

メール通知機能をオン又はオフに設定できます。オンにすると、NETWORK に“Mail Setting”オプションが追加され、メール通知の設定を行えます。



4.6 NETWORK

ネットワークの設定は、メニューでハイライトを NETWORK アイコンに移動させ、ENTER ボタンを押します。ネットワーク設定メニューが画面に表示されます。



1) IP モード: Static、Dynamic、PPPoE

ネットワーク設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトを IP モード に移動させます。ENTER ボタンを押すと、IP モードが変更できます。上下ボタンと ENTER を使って IP モードを変更します。

2) IP アドレス:

ネットワーク設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトを IP アドレスに移動させます。ENTER ボタンを押すと、IP が変更できます。IP アドレスは、OSD キーボードから入力できます。数字文字の選択と入力はカーソルと ENTER ボタンを使います。正しい IP アドレスを入力したら、適用して戻るを押して、保存してください。(マウスを使っても入力できます)

3) サブネットマスク:

ネットワーク設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトをサブネットマスクに移動させます。ENTER ボタンを押すと、サブネットマスクが変更できます。サブネットマスクは、OSD キーボードから入力できます。数字文字の選択と入力はカーソルと ENTER ボタンを使います。正しいサブネットマスクを入力したら、適用して戻るを押して、保存してください。(マウスを使っても入力できます)

4) ゲートウェイ:

ネットワーク設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトをゲートウェイに移動させます。ENTER ボタンを押すと、ゲートウェイが変更できます。

ゲートウェイは、OSD キーボードから入力できます。数字文字の選択と入力はカーソルと ENTER ボタンを使います。正しいゲートウエーを入力したら、適用して戻るを押して、保存してください。(マウスを使っても入力できます)

5) ポート:

ネットワーク設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトをポートに移動させます。ENTER ボタンを押すと、ポートが変更できます。ポートは、OSD キーボードから入力できます。数字文字の選択と入力はカーソルと ENTER ボタンを使います。正しいポートを入力したら、適用して戻るを押して、保存してください。(マウスを使っても入力できます)

6) NETWORK:

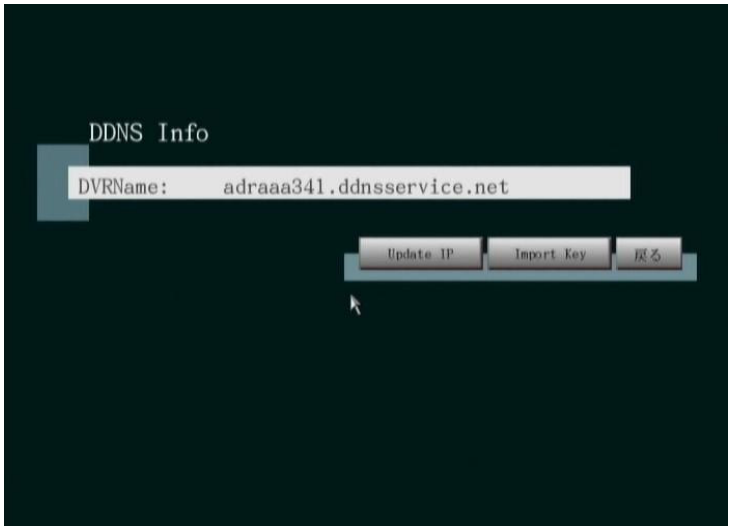
NETWORK設定がオンの場合、NETWORK機能が有効となります。設定がオフの場合、NETWORK機能が終了となります。

7) DDNS:

UPまたはDOWNボタンを用いてネットワーク設定メニューにおいてハイライトアイコンをDDNSへ移動させてください。

◆ DDNS機能キー: DDNS機能を有効化/無効化します（初期設定は無効です）。

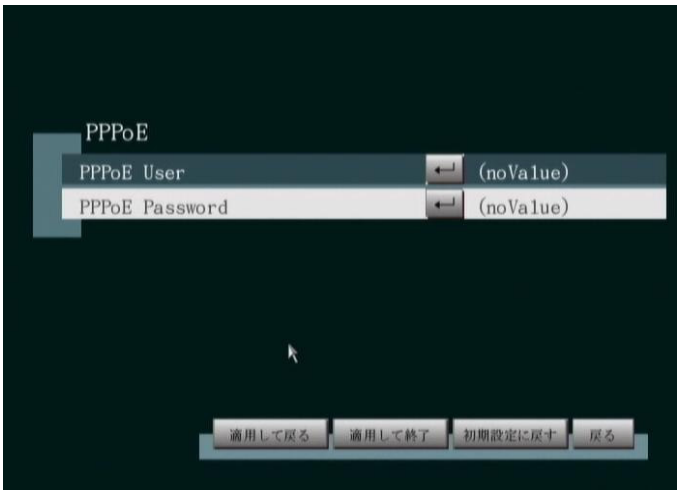
◆ DVRは以下の図で示される画像のようにDDNSキーを内蔵しています。DVRNameは当DVRのドメイン名です。PPPoEを通じてインターネットにオンラインすると、ユーザーはブラウザのウェブアドレス欄にhttp://adraaa341.ddnsservice.net:8080 (ポート番号の初期設定は8080)と打ち込み、ライブ画像をモニタリングすることができます。



◆ DynDNS: 第三者のDynDNSサービス利用です。ユーザーはDynDNSサービスに申請してから、当サービス使用にあたり、「ユーザー名/パスワード/サーバーIPアドレス/ローカル名」をきちんと入力ください。

8) PPPoE:

ネットワーク設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトを PPPoE に移動させます。ENTER ボタンを押すと、PPPoE の設定ができます。ユーザー名とパスワードは、フロントパネルのカーソルと Enter ボタンや、マウス及び OSD キーボードからも入力できます。正しいユーザー名とパスワードを入力したら、適用して戻るを押して、保存してください。



9) EMAIL SETTING:

ネットワーク設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトアイコンを Mail Setting に移動させます。ENTER ボタンを押すと、メール設定が行えます。フロントパネル上のカーソルと ENTER ボタン、又はマウスか OSD キーボード を使って操作します。正しい設定を入力したら、適用して戻るを押して保存します。

a)Alaert Email Address：アラーム又はモーション検知が発生したら、指定メールアド

レスにメールを送信します。

b)SMTP Server：メールを転送する SMTP サーバーアドレスの設定。

c)SMTP UserName：SMTP サーバーアカウントを入力(必要な場合)

d)SMTP UserPass：パスワードの入力(必要な場合)

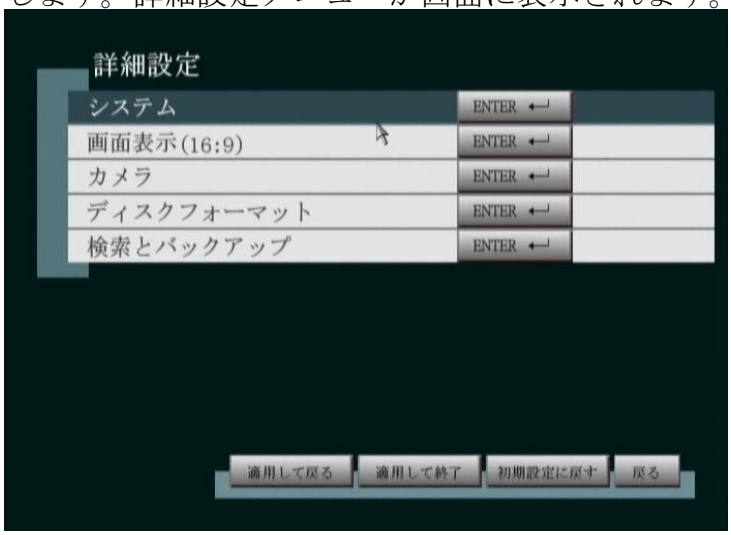
10) ビデオ解像度のストリーミング:

「ビデオ解像度のストリーミング」が CIF に設定されている場合、遠隔ウェブブラウザは CIF 解像度で表示されます。「ビデオ解像度のストリーミング」が D１に設定されている場合、遠隔ウェブブラウザは D１解像度で表示されます。

注: 実際のネットワークバンド幅で設定を行ってください（解像度がより高いまたは写真がより多い場合、より多くのバンド幅が必要となります）。

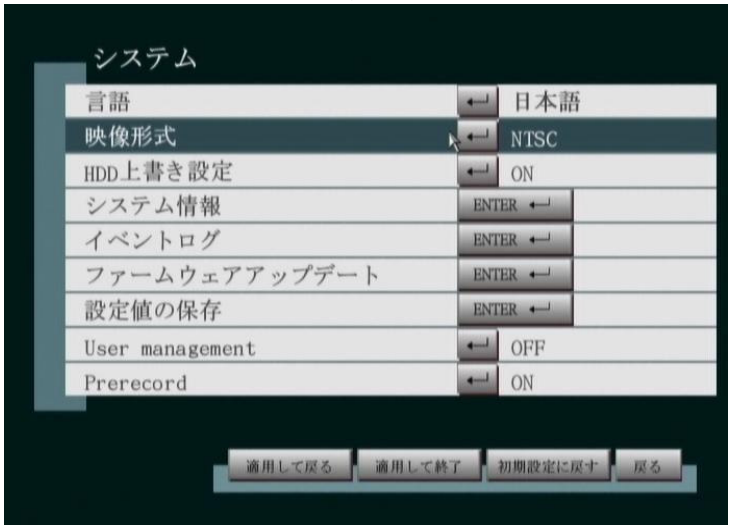
4.7　詳細設定

詳細設定は、メニューでハイライトを詳細設定アイコンに移動させ、ENTER ボタンを押します。詳細設定メニューが画面に表示されます。



4.7.1 システム

詳細設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトをシステムに移動させます。
ENTER ボタンを押すと、システム設定メニューが表示されます。



1) **言語（Language）:** 英語、中国語(繁体文字)、中国語(簡体文字)、韓国語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語、日本語,ロシア語
システム設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトを Language に移動させます。ENTER ボタンを押すと、言語が変更できます。上下ボタンと ENTER を使って OSD 言語を選択してください。

2) **映像形式**: NTSC、PAL、オート
システム設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトを映像形式に移動させます。ENTER ボタンを押すと、ビデオフォーマットが変更できます。上下ボタンと

ENTER を使ってビデオフォーマットの NTSC 又は PAL,オートを選択します。

3) **HDD 上書き設定**:オン、オフ
システム設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトを HDD 上書き設定に移動させます。ENTER ボタンを押すと、ディスクの上書き機能をオンかオフに設定できます。上下ボタンと ENTER を使って、ディスクの上書き機能のオン又はオフを設定してください。オンに設定すると、HDD 容量が一杯になったとき、古い録画データから、上書き録画を行います。

4) **システム情報**
IP アドレス、ファームウエア･バージョン、ディスク容量などのシステム情報が表示されます。

5) **イベントログ**
イベントログ機能の有効又は無効の設定をしたり、ユーザーはイベントログの閲覧ができます。

6) **ファームウェアアップデート**
ファームウエアのアップデートを開始します。

7) **設定値の保存**
システム設定をインポート又はエクスポートします。ユーザー設定を保存できます。

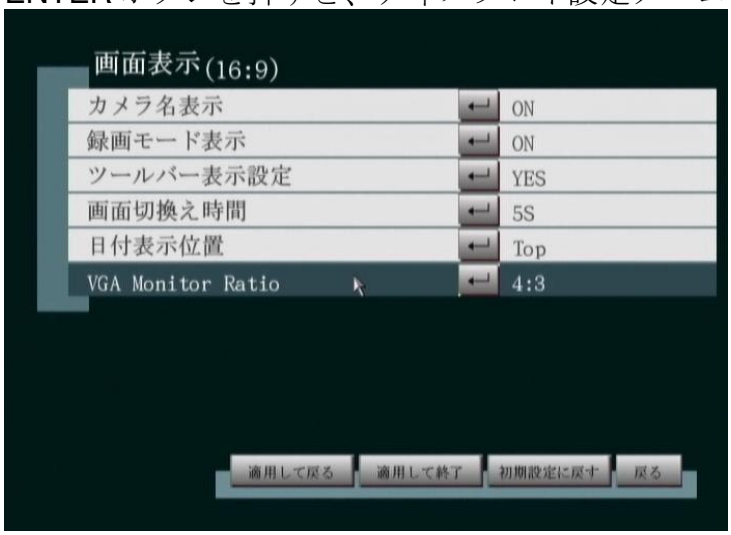
8) **USER MANAGEMENT**
この機能を有効にすると、システム設定メニューにアクセスするために、ユーザーはログインパスワードの入力が必要となります。
ご注意：本項目を有効にすると、メインメニュー“詳細設定”内の“アカウント/パスワード”でアカウントとパスワード情報を変更することができるようになります。

9) **PERERCORD**
この機能が有効な状態でアラーム又は動体検知が作動した場合、内蔵バッファメモリにイベント発生前の映像が保存されます。

10) **DVR 番号**
マルチDVRで特定DVR ユニットを選択される場合、DVR番号を000-999に設定ください。例えば、DVR番号を123とセットした場合のDVR No. 123の遠隔操作方法は次の通りです。リモコンの「Func」キーを押し、1、2、3と順に押してください。それから選択DVRを管理するために「Enter」キーを押してください。

4.7.2 画面表示

詳細設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトを画面表示に移動させます。
ENTER ボタンを押すと、ディスプレイ設定メニューが表示されます。



1) カメラ名表示: オン、オフ
カメラ名の表示を有効又は無効にします。

2) 録画モード表示: オン、オフ
ライブ監視中の各チャンネルの画面上に、録画モードの表示を有効又は無効にします。

3) ツールバー表示設定: ON、OFF
監視カメラのツールバーの自動表示機能を有効又は無効にします。ON に設定すると、画面の最下部にマウスカーソルを移動させない限り、ツールバーは隠れて見えなくなります。OFF の場合、ツールバーは常に表示されます。

4) 画面切換え時間: 5S、10S、15S、30S、オフ（S : 秒）
監視中のカメラチャンネルが自動で切り替わるまでの時間を設定します。

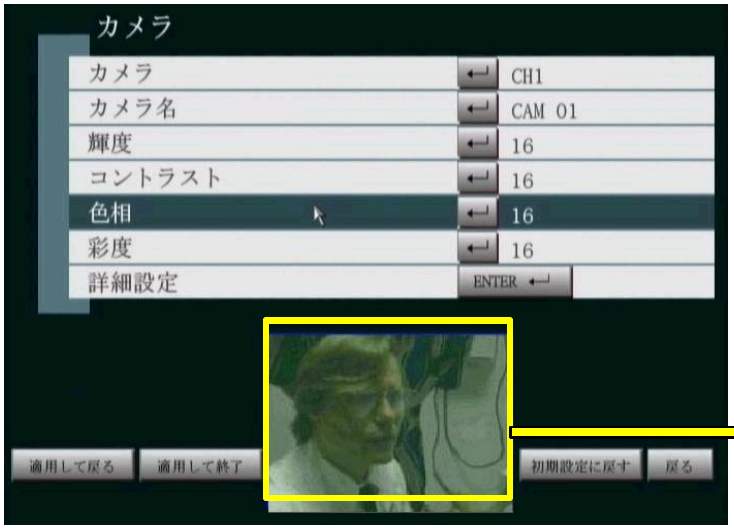
5) 日付表示位置: Top、Bottom
画面上のシステム日時の表示位置を設定します。

6) VGA MONITOR RATIO: 4 : 3、16 : 9
VGA 出力時のアスペクト比を設定します。ご利用のモニタの仕様にあわせて設定を変更してください。

7) RECORD DATE TIME: オン、オフ
オンに設定した場合、タイムマーキングが内蔵され、各ビデオチャネルに記録されます。

4.7.3 カメラ

詳細設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトを Camera に移動させます。
ENTER ボタンを押すと、カメラ設定メニューが表示されます。



調節しやすいよう、調節するチャンネルの画像がここに表示されます。

1) **カメラ**: CH1, CH2, CH3, CH4
   設定するカメラを選択します。

2) **カメラ名**
   各カメラに名前を設定できます。

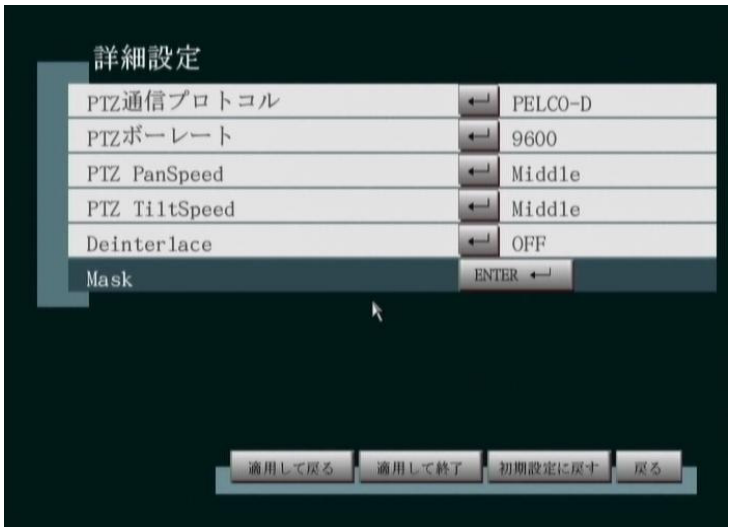
3) **輝度:** 0 ~ 31
   カメラディスプレイの明るさを設定します。値が大きいほど明るさが増します。

4) **コントラスト:** 0 ~ 31
   カメラディスプレイのコントラストを設定します。

5) **色相:** 0 ~ 31
   カメラディスプレイの色相を設定します。

6) **彩度:** 0 ~ 31
   カメラディスプレイの彩度を設定します。

7) **詳細設定**
   カメラ設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトを詳細設定に移動させます。
   ENTERボタンを押すと、詳細設定メニューが表示されます。



1) PTZ通信プロトコル: PELCO-P, PELCO-D
PTZカメラをご利用の場合、PTZカメラ制御に対応したプロトコルを設定してください。

2) PTZボーレート: 2400,4800,9600,19200,38400,115200
PTZカメラをご利用の場合、PTZカメラ制御に対応した通信速度を設定してください。

3) PTZ PanSpeed:High、Middle、Slow
PTZカメラをご利用の場合、PTZカメラ制御に対応したパンスピードを設定してください。

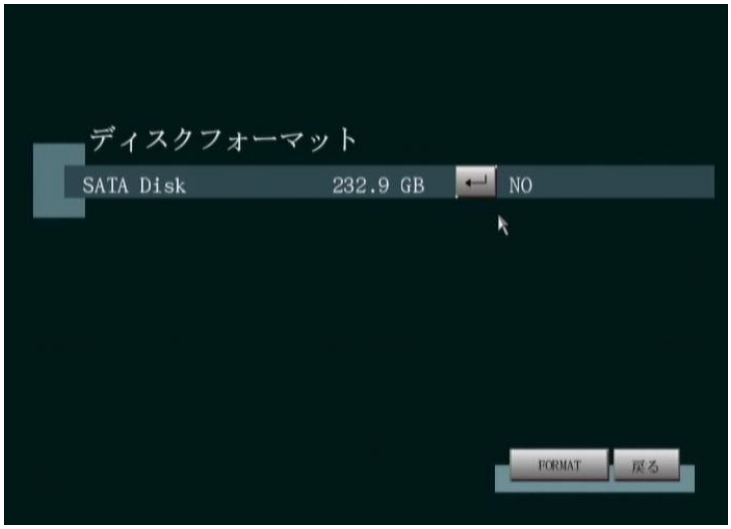
4) PTZ TiltSpeed: High、Middle、Slow
PTZカメラをご利用の場合、PTZカメラ制御に対応したチルトスピードを設定してください。

5) Deinterlace:ON、OFF
PTZカメラのインターレース解除機能を有効又は無効にします。

6) Mask
DVRで表示、及び録画中の映像にマスク機能を使って指定した部分にモザイクをかけることが出来ます。

4.7.4 ディスクフォーマット

詳細設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトをDisk formatに移動させます。
ENTERボタンを押すと、ディスクフォーマットメニューが表示されます。



上下ボタンでフォーマットするディスクドライブを選択してください。ENTER ボタンを押し、上/下/ ENTER ボタンを使って設定を YES に変更します。FORMAT ボタンを選び、ENTER で確定すると、ディスクのフォーマットが開始されます。

ご注意： 本機でハードディスクドライブをご利用になる際には、必ず事前にフォーマットを行ってください。

4.7.5 検索とバックアップ

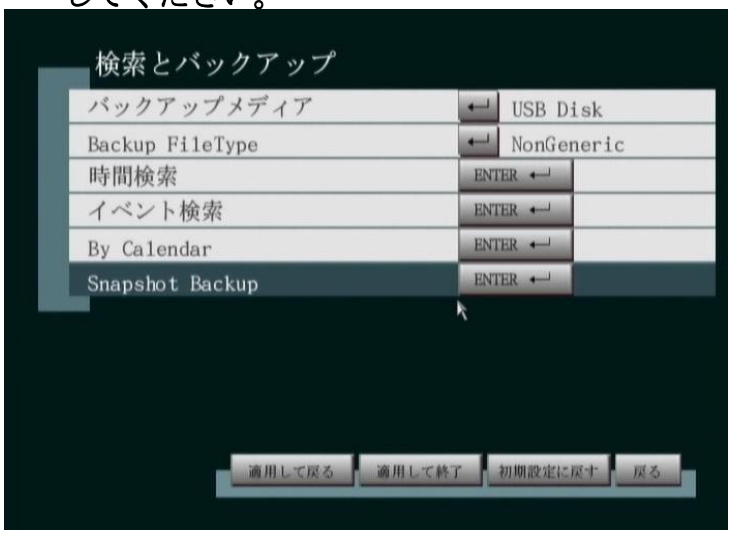
この検索とバックアップ機能では、DVR に保存されたビデオデータを検索して再生したり、他のバックアップメディアにコピーを作成することができます。

詳細設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトを Search & Backup に移動させます。ENTER ボタンを押すと、検索&バックアップメニューが表示されます。

ご注意:

1) **検索とバックアップメニューは、フロントパネル上の SERCH ボタンを押してアクセスすることも可能です。**

2) **ビデオデータのバックアップをする際、検索とバックアップメニューにアクセスする前に、バックアップメディア(CF、USB ドライブ、DVD)が挿入されているか、確認してください。**



1) バックアップメディア:USB Disk、CF Card、DVD ROM

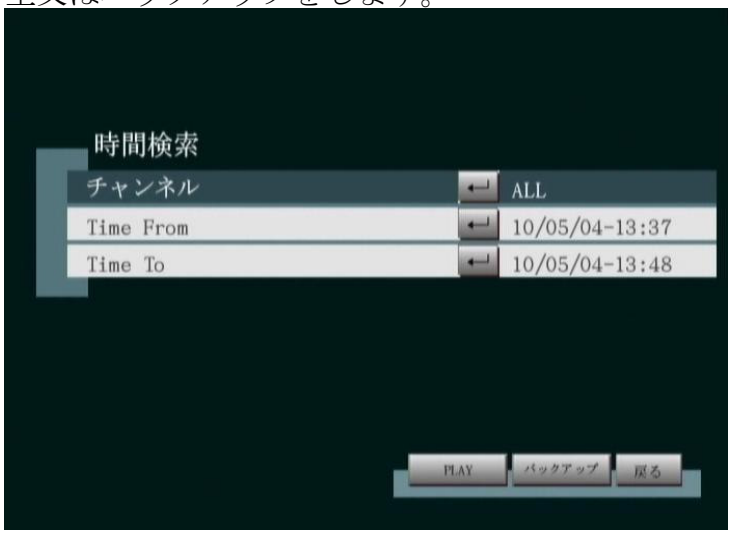
検索とバックアップメニューで、上下ボタンを使ってハイライトをバックアップメディアに移動させます。ENTERボタンを押すと、バックアップ先のメディアの種類が表示されるので、USBディスク、CFカード、DVDロムから選択してください。

2) Backup FileType:NonGeneric,Generic-H264

検索とバックアップメニューで、上下ボタンを使ってハイライトをBackup FileTypeに移動させます。ENTERボタンを押すと、バックアップファイルの動画フォーマットの種類が表示されます。リストの中から動画フォーマットを選択してください。詳しくは付録-3をご参照ください。

3) 時間検索

選択したチャンネルの開始/終了時間を基に、収録されたビデオファイルを検索して、再生又はバックアップをします。



OSD キーボード、又はフロントパネルの数字ボタンを使って時間を入力します。

OSD キーボードをご使用の場合は、カーソルと ENTER ボタンで数字文字の選択と入力を行ってください。(マウスによる入力も可)

正確な時間を入力したら、SAVE&ESC を押して保存してください。

4) イベント検索:

録画イベントリストが表示されるので、再生又はバックアップしたいデータを選んでください。MARK(マーク)機能を使って多数のファイルを一度に選んでバックアップすることが出来ます。

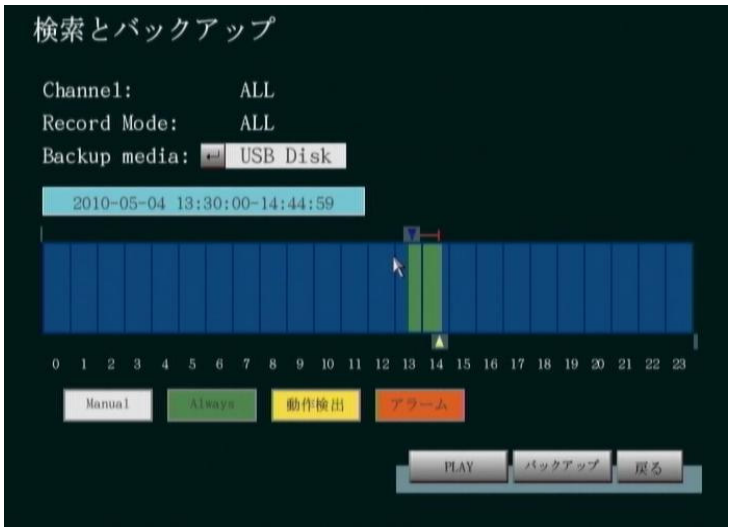
ご注意: フロントパネルで操作する場合は各ファンクションボタンが示す番号と同じ数字ボタンを押してください。選択されたファンクションボタンが、オレンジ色にハイライトされます。ENTERボタンを押すと、選択されたボタンが実行されます。

ご注意：カーソルの“右”又は“左”を押すと、ページが切り換わります。

5) BY CALENDAR(カレンダーから):

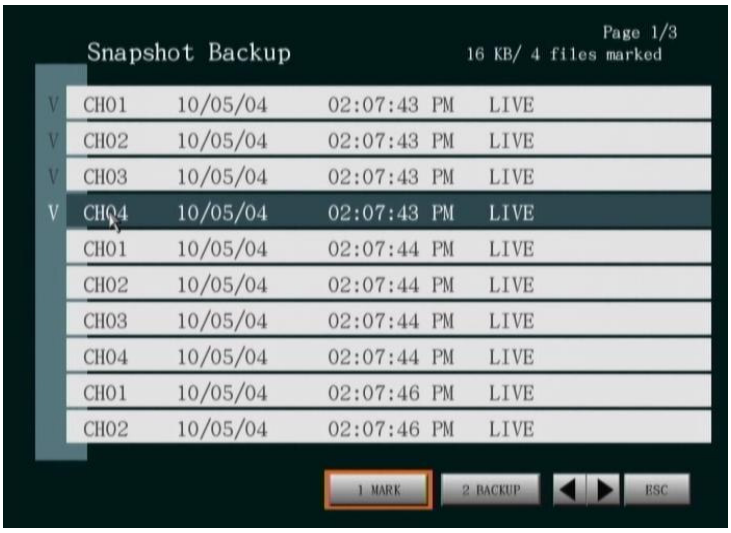
1. 以下に示すように、Search by Calendar(カレンダーから検索)メニューで、チャンネル、録画モード、年･月を選んでビデオ検索を行います。そして、ダブルクリック、又はカーソルとENTERボタンで検索したい日にちを選びます。

2. 検索条件にマッチする録画データは以下の図のように表示されます。マウス、又はカーソルを使って再生又はバックアップしたい時間帯(赤フレーム)を選んでください。



6) Snapshot Backup：

上下ボタンで**Snapshot Backup**メニューを選び、**MARK**ボタンを押してください。バックアップする写真を選び、バックアップボタンを押して、選んだ写真をバックアップします。下図を参考にしてください。

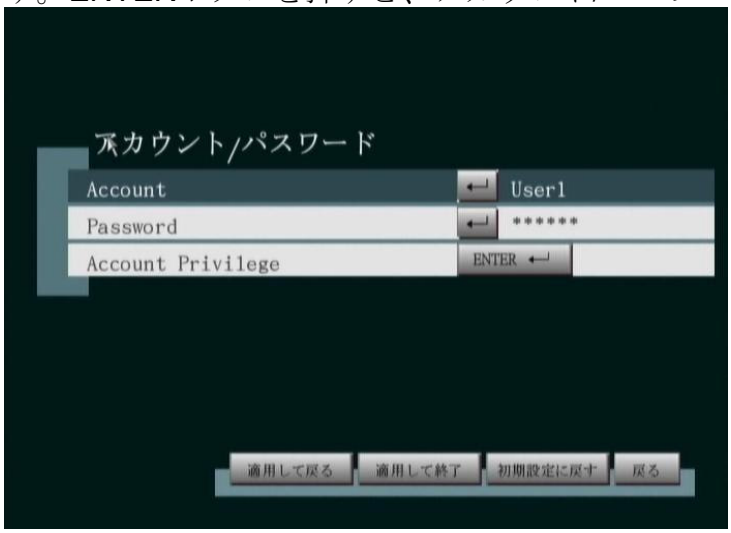


4.7.6 アカウント/パスワード

ご注意: User management機能がONに設定されている場合だけ、この画面がメニューに表示されます。また、管理者、並びに権限のあるユーザーだけがアクセス出来ます。

(User managementは、メインメニュー＞詳細設定＞システム内で設定が可能です。)

詳細設定メニューで、上下ボタンを使ってハイライトをAccount/ Passwordに移動させます。ENTERボタンを押すと、アカウント/パスワード設定メニューが表示されます。



1) **Account**: Admin, User1, User2, User3, User4
パスワードを設定するアカウントを選択します。管理者 1 名と一般ユーザー 4 名から選択できます。

2) Password
選択したアカウントのパスワードを設定します。（1～12 文字）

3) Account Privilege
管理者は選択したユーザーアカウントに対し、利用者権限を設定できます。ENTER ボタンを押すと、アカウント利用者権限設定メニューが表示されます。アカウント利用者権限として、システム、画面表示、カメラ、ディスクフォーマット、検索とバックアップ、アカウント/パスワード、Network Video、Network Setup、PTZ、録画設定が設定できます。

ご注意: 管理者はシステムの全てに対して権限を有しているため、管理者には利用者権限を設定することはできません。

4.7.7 工場初期設定のロード

工場初期設定のロードを行うと、DVR は自動的に再起動します。

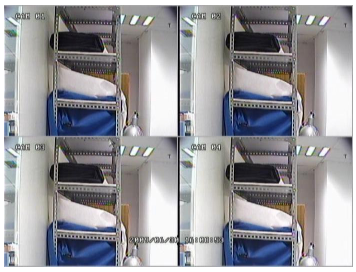
第 5 章 ライブディスプレイ

1) ディスプレイモード

ディスプレイモードでは、全画面、4 分割画面がサポートされています。フロントパネルの ボタンで、ディスプレイモードの切替えが出来ます。

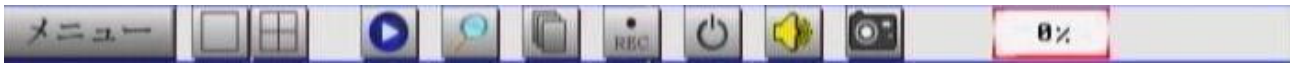
A) 全画面

B) 4 分割画面



2) OSD メニューボタン（マウス操作用）

マウスカーソルを画面の最下部に移動させると、以下のようにツールバーが現れます。



ボタン	説明
	マウスカーソルでこのボタンをクリックすると、DVRの設定メニューに移動します。
	マウスカーソルでこのボタンをクリックすると、ライブディスプレイが全画面表示になります。更にクリックし続けると各チャンネルに順に切り換わります。
	マウスカーソルでこのボタンをクリックすると、ライブディスプレイが4分割画面になります。
	マウスカーソルでこのボタンをクリックすると、最後に録画されたイベントが再生されます。
	マウスカーソルでこのボタンをクリックすると、検索とバックアップメニューが表示されます。
	マウスカーソルでこのボタンをクリックすると、画面の左上に自動切替表示アイコンが表示され、画面の自動切替表示機能が有効となります。各カメラの画面表示時間は"メニュー＞詳細設定＞画面表示＞画面切換え時間"で設定できます。（この設定は全画面表示にのみ有効です。）
	マウスカーソルでこのボタンをクリックすると、手動緊急録画（全チャンネル）を開始します。画面の右上にREC(録画)が表示され、ボタン表示は"　stop"(停止)ボタンに変わります。

	手動緊急録画が動作中にマウスカーソルでこのボタンをクリックすると、録画を停止します。
	DVRの電源を切ったり、再起動するときに、マウスカーソルでこのボタンをクリックします。 **ご注意: フロントパネルのDown(下)ボタンを押しても、DVRの電源を切ったり再起動することが出来ます。**
	マウスカーソルでこのボタンをクリックしてオーディオチャンネルを選択します。 **ご注意: オーディオチャンネルを設定すると、それに対応するビデオチャンネルだけにオーディオサインが表示されます。**
	このボタンをマウスカーソルでクリックすると、現画面の映像を写真撮影します。
	マウスをこのエリアに移動させると、DVRのHDD残量が表示されます。

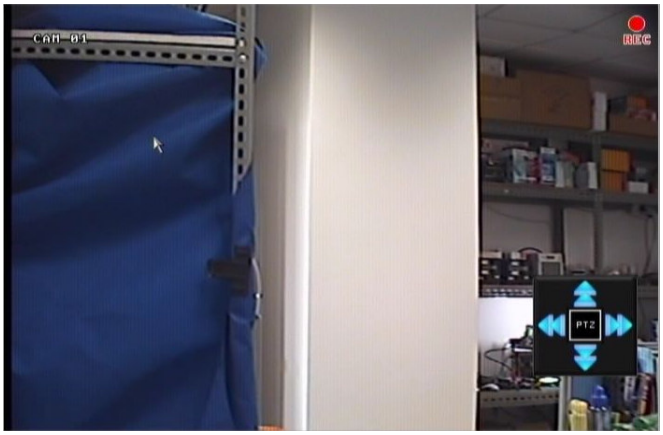
第 6 章: バックアップ

DVR のビデオファイルバックアップには USB2.0 ドライブ、CF カード(オプション)、DVD ロム(オプション)がご使用になれます。バックアップ手順については **4.7.5 SEARCH & BACKUP** をご参照ください。同梱の DVR ファイルプレイヤーソフトでバックアップファイルの再生ができます。

第 7 章: PTZ コントロール

ご注意: PTZ をお使いになる前に、PTZ カメラがインストールされているかご確認ください。次に、"メニュー＞詳細設定＞カメラ＞詳細設定"を順に選び、PTZ 通信プロトコルと PTZ ボーレートの設定を行ってください。設定が変更出来たら、保存して元の画面に戻ってください。

ライブ監視画面で、フロントパネル、リモコン、マウスでの操作により PTZ チャンネルを選択してください。PTZ ボタンを押すか画面上のコントローラアイコンをマウスクリックすると、PTZ アイコンが画面の右下に表示されます。以下の図の通り、このアイコンで PTZ カメラを上/下/左/右にパンすることが出来ます。



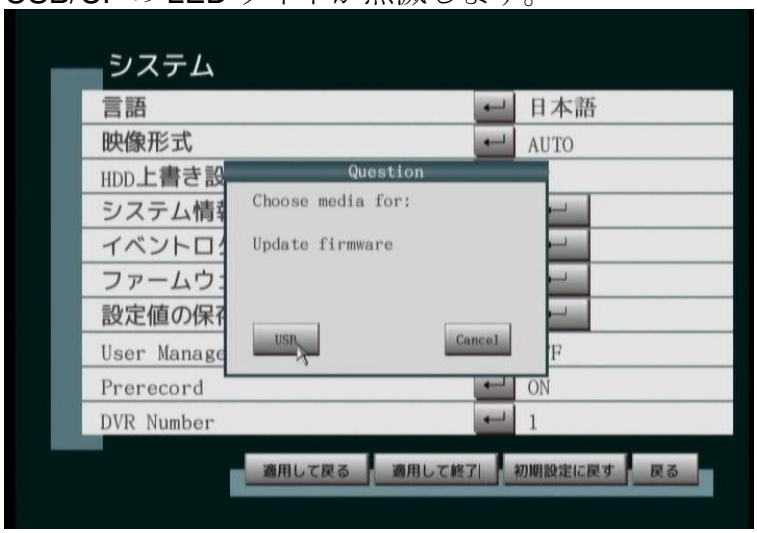
次に、ENTER ボタンを押すか、マウスカーソルで PTZ アイコン中央をクリックしてください。以下の図の通り、これでズームイン/アウト機能が起動します。

ご注意:マウス操作の場合、右クリックすると PTZ 操作モードを終了することができます。

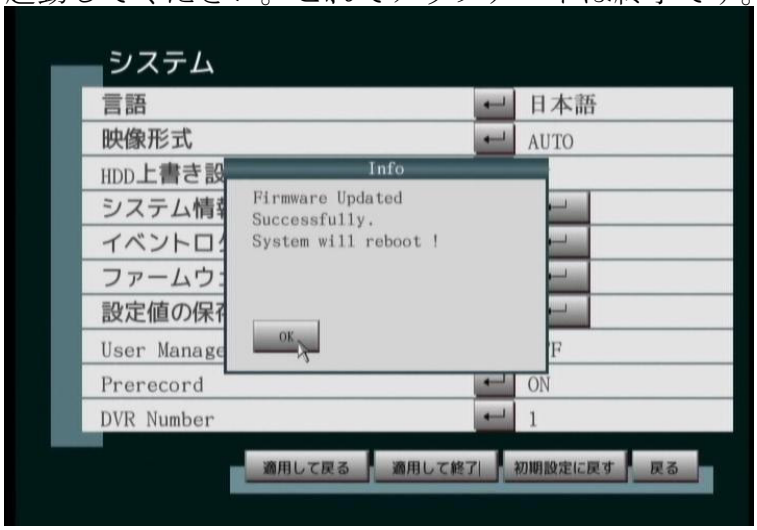
第 8 章: ファームウエア アップデート

ステップ 1. ファームウエアファイルを CF カード又は USB ドライブのルートディレクトリにコピーしてください。そして、CF カード又は USB ドライブを、フロントパネル上の CF スロット又は USB ポートに挿入してください。

ステップ 2: "メニュー＞詳細設定＞システム＞ファームウェアアップデート"と順に選び、ENTER ボタンを押して、アップデートを開始してください。フロントパネルにある USB/CF の LED ライトが点滅します。



ステップ 3: アップデート完了のメッセージが出たら、OK ボタンを押してシステムを再起動してください。これでアップデートは終了です。



警告:ファームウエアのアップデート中には絶対に電源を切らないでください。動作不良の原因となります。

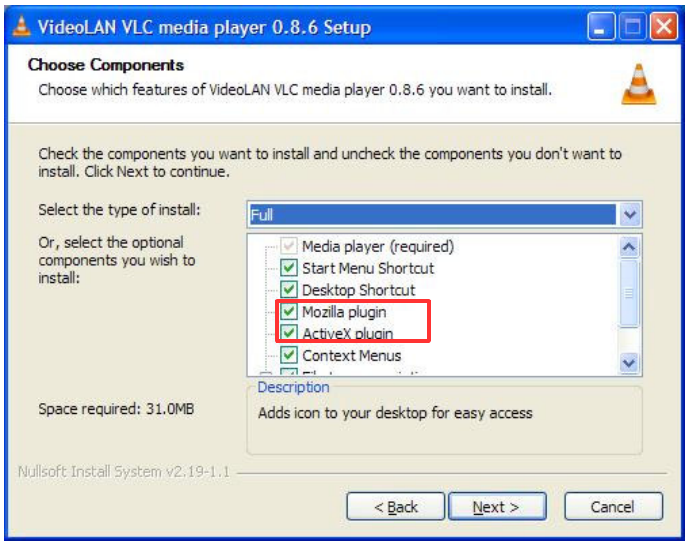
第 9 章: リモート監視と制御

ADR-7604H/S DVR サーバーは、インターネットブラウザ（IE/Firefox）を利用したリモート監視、リモート制御が可能です。リモート監視や制御機能をお使いになる前に、DVRがネットワークに接続されていて、IPアドレスが正しく設定されていることを確認してください。

ヒント: 初めてお使いになる前に、次のウェブサイトから、VLCメディアプレイヤーのダウンロードとインストールをしてください。http://www.videolan.org/vlc

本製品で推奨するVLC media player v1.0.5 は、以下のURLからダウンロードすることができます。
http://download.videolan.org/pub/videolan/vlc/1.0.5/win32/vlc-1.0.5-win32.exeからダウンロードするのがお薦めです。

インストールの際は、IE と Firefox に必要なネットワークコンポーネントが自動的にインストールされるよう、Full（完全）インストールを選んでください。インストールが完了すれば、ネットワークを介してブラウザ上でいつでもライブビデオの監視ができます。

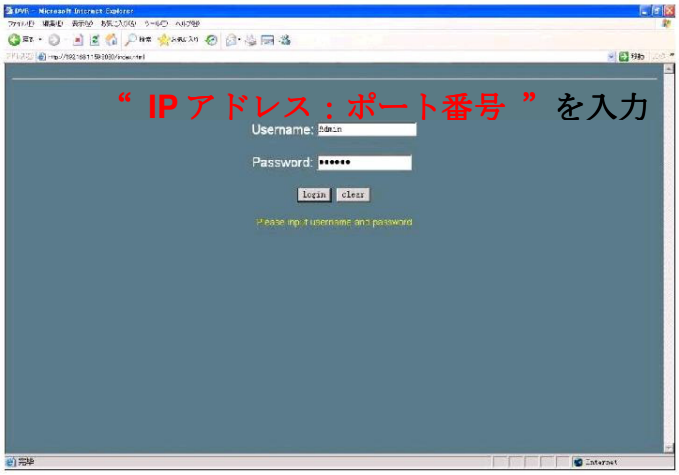

VideoLAN VLC media player 0.8.6 Setup
Choose Components
Choose which features of VideoLAN VLC media player 0.8.6 you want to install.
Check the components you want to install and uncheck the components you don't want to install. Click Next to continue.
Select the type of install:
Full
Or, select the optional components you wish to install:
Media player (required)
Start Menu Shortcut
Desktop Shortcut
Mozilla plugin
ActiveX plugin
Context Menus
Description
Adds icon to your desktop for easy access
Space required: 31.0MB
Nullsoft Install System v2.19-1.1
< Back
Next >
Cancel

ご注意: VLC メディアプレイヤーをカスタムインストールする際は、Mozilla Plugin (Firefox)及び ActiveX plugin (IE)を必ず選択してください。

9.1　DVR のリモート制御

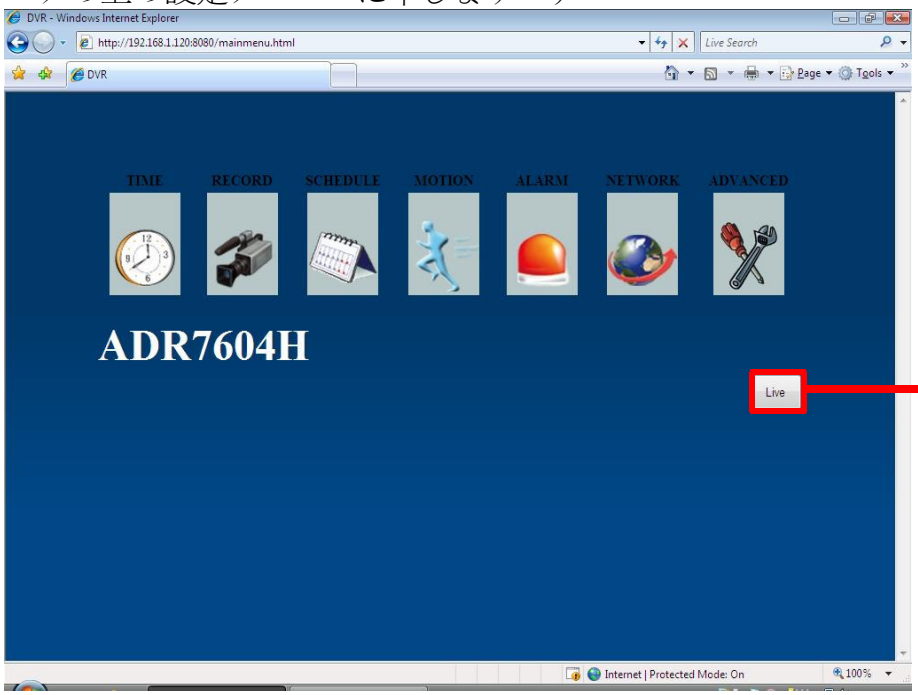
1)　DVR に接続

ステップ 1: IE 又は Firefox を使い、遠隔制御する DVR の IP アドレスとポートを、アドレスバーに入力してください。ENTER を押すと、ログインページが表示されます。



ステップ 2: ユーザー名とパスワードを入力してください。デフォルトユーザー名とパスワードは、それぞれ Admin と 111111 です。ログインボタンをクリックすると、メインページ（下の図）に行きます。

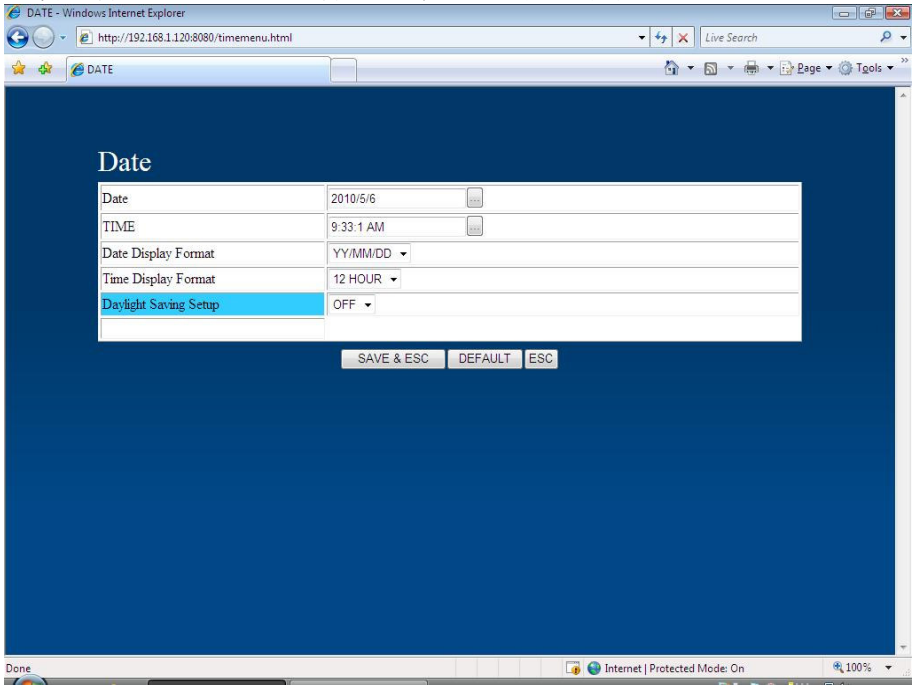
このページでは、ネットワークを介して日付/時間、録画設定、予定表、動作検出、アラーム、NETWORK、詳細設定の設定を行うことができます。（設定内容はローカル監視モニタの上の設定メニューに準じます。）



Live アイコンを押すとライブ映像によるリアルタイム監視ができます。

2) 日付/時間

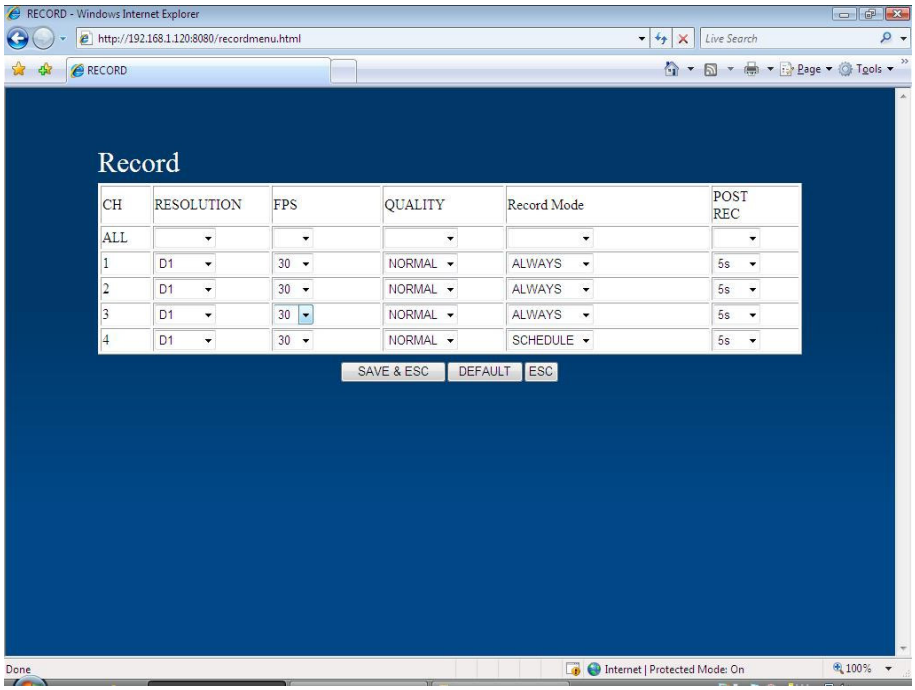
日付/時間を押すと、時間に関する設定が出来ます。



設定が完了したら、”適用して戻る”を押してメインページに戻ってください。

3) 録画設定

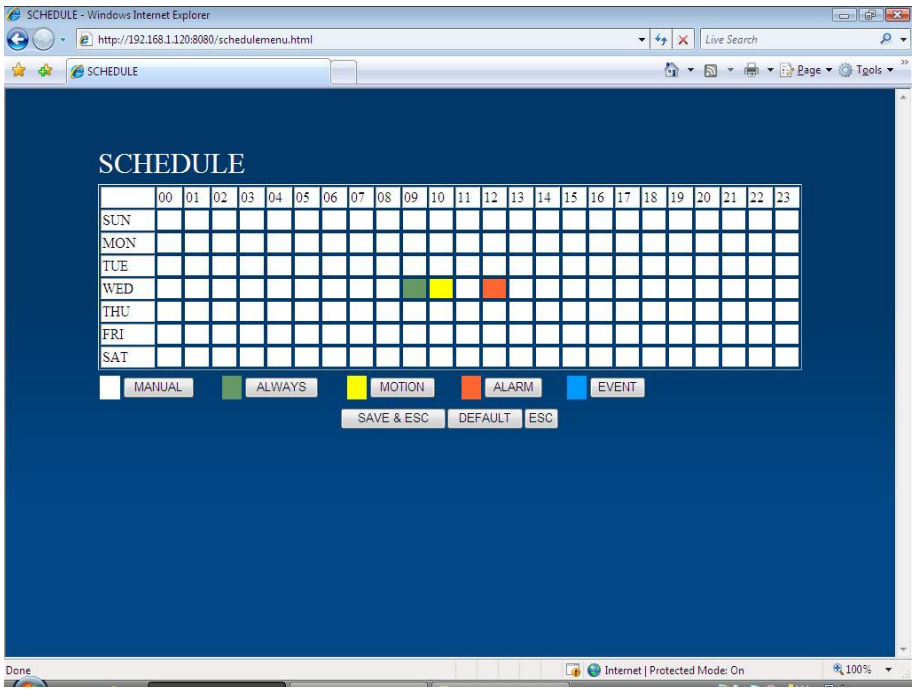
録画設定を押すと、録画に関する設定が出来ます。下図を参考にしてください。



設定が完了したら、”適用して戻る”を押してメインページに戻ってください。

4) 予定表

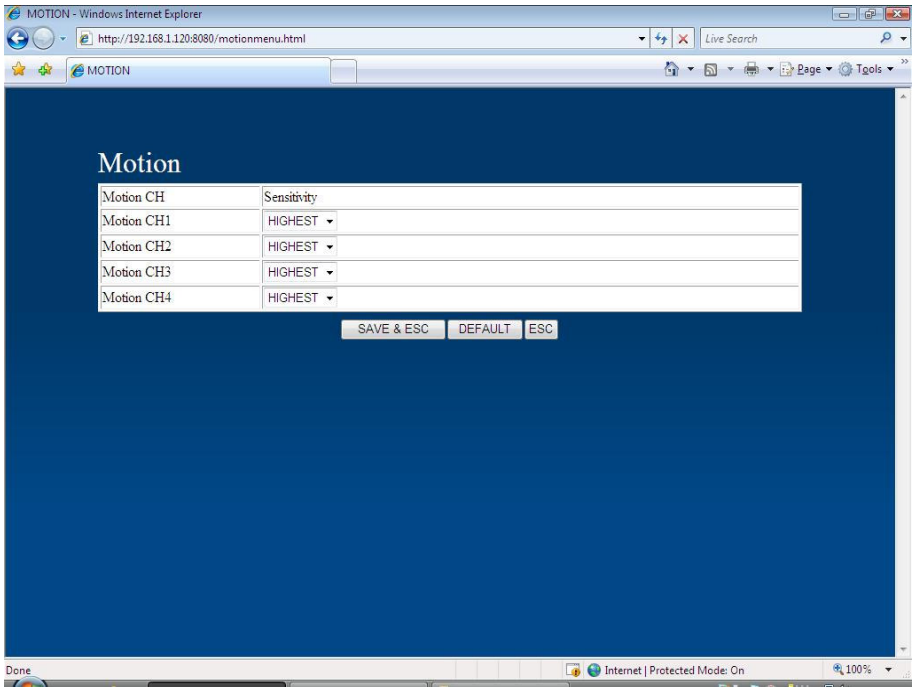
予定表を押すと、スケジュールに関する設定が出来ます。



設定が完了したら、”適用して戻る”を押してメインページに戻ってください。

5) 動作検出

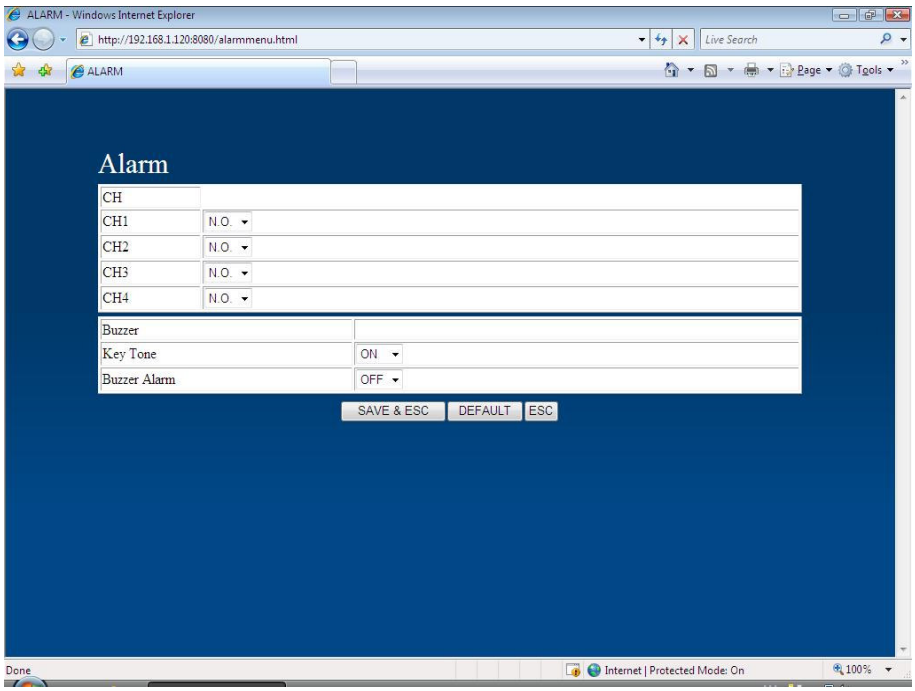
動作検出を押すと、モーション検知に関する設定が出来ます。



設定が完了したら、”適用して戻る”を押してメインページに戻ってください。

6) アラーム

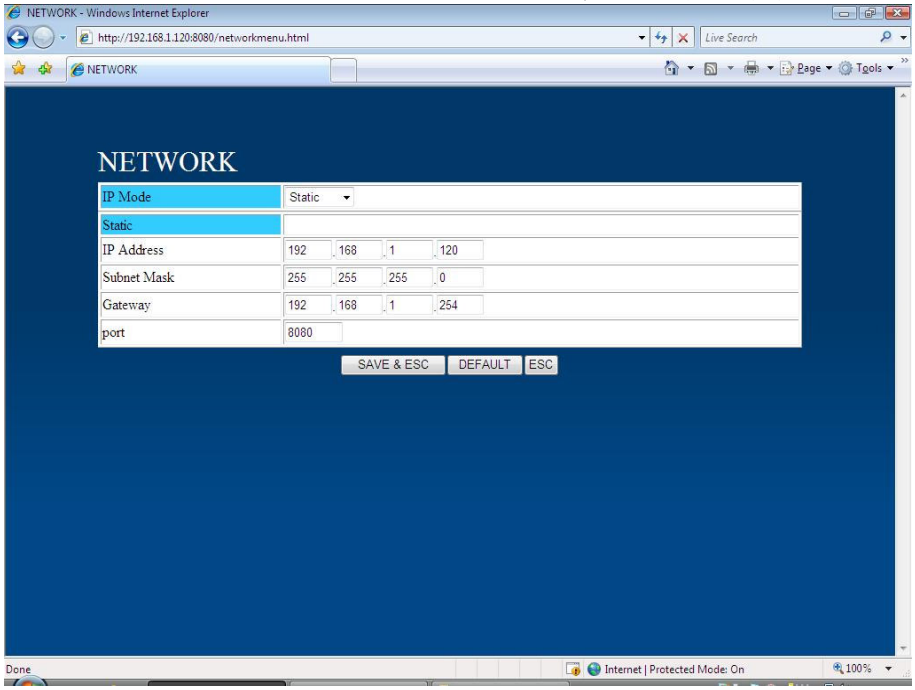
アラームを押すと、アラームに関する設定が出来ます。



設定が完了したら、”適用して戻る”を押してメインページに戻ってください。

7) NETWORK

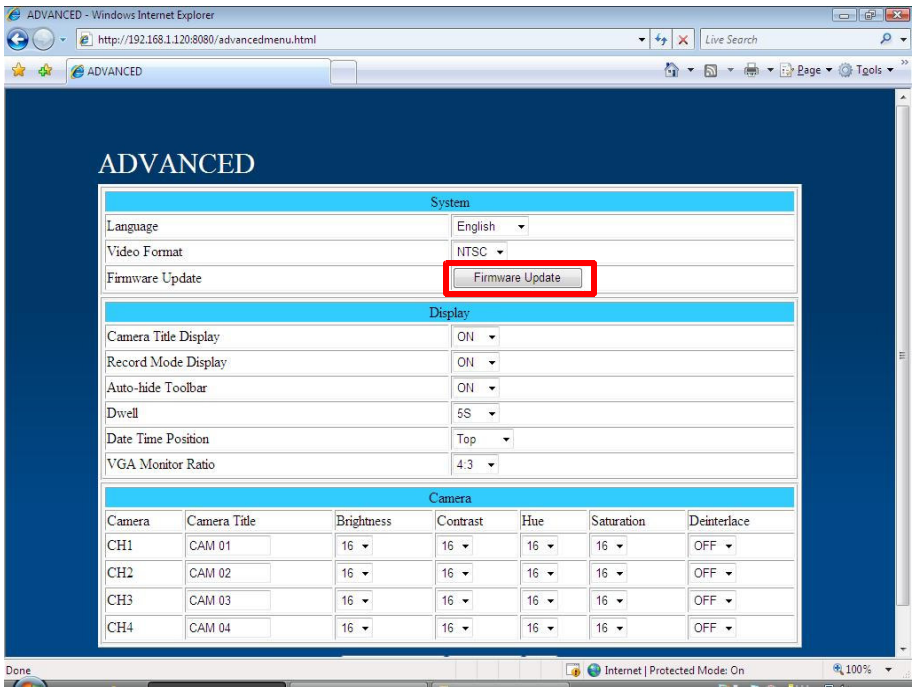
NETWORK を押すと、ネットワークに関する設定が出来ます。



設定が完了し、”適用して戻る”を押すと、ウェブページが自動的にトップページに戻ります。ユーザー名とパスワードを入力し、再度ログインしてください。

8) 詳細設定

詳細設定を押すと、詳細オプションに関する設定が出来ます。

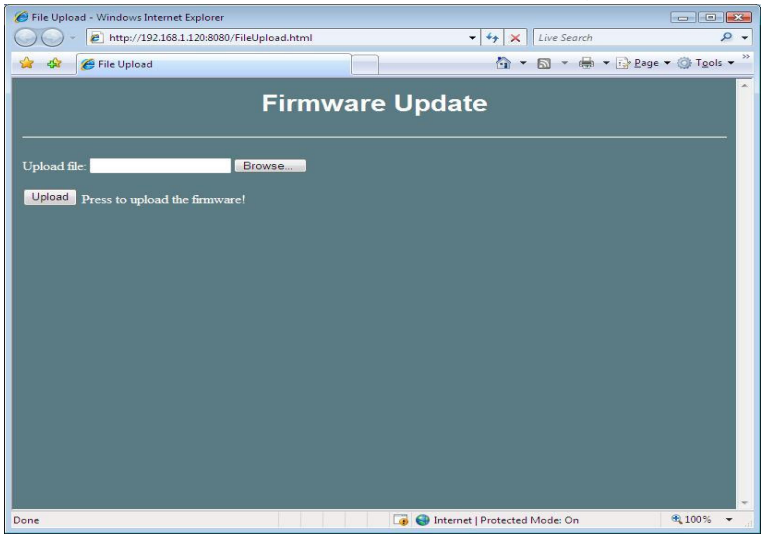


設定が完了したら、”適用して戻る”を押してメインページに戻ってください。

ご注意：ビデオフォーマットの変更を行うと DVR は自動的に再起動しますので、管理画面へは再度ログインする必要があります。

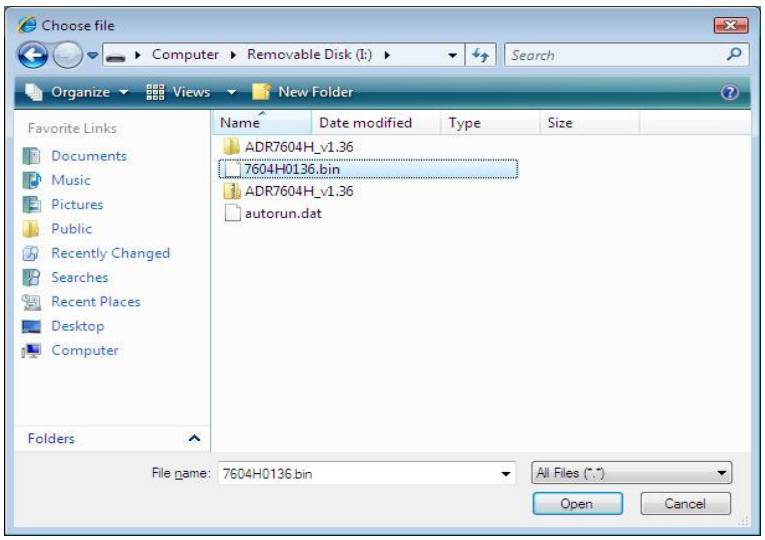
ファームウエアアップデート：

ファームウエアアップデートを押すと、自動的にシステムが次のページに変わります。



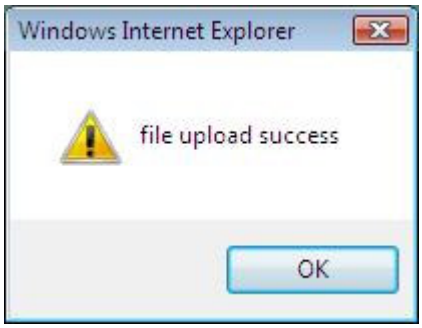
次のステップに従い、ネットワークファームウエアのアップデートを行ってください。

ステップ 1：“参照”ボタンを押して、ファームウエアイメージファイルを選びます。(例：7604H0136.bin)ファイルは、http://www.acard.com よりダウンロードしてください



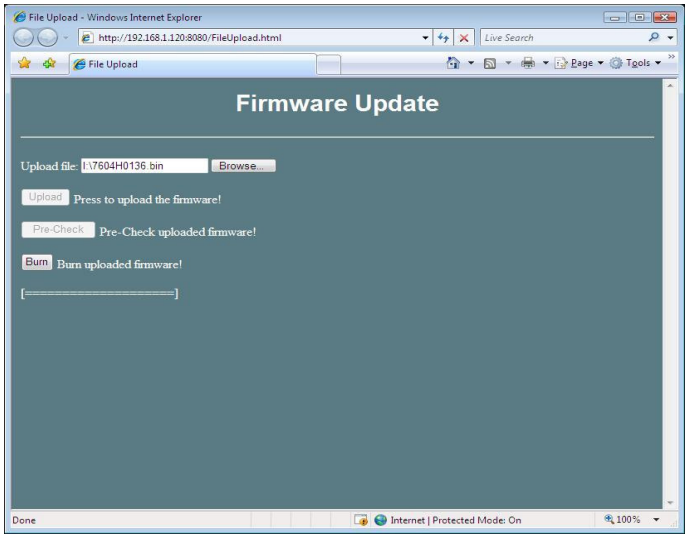
ステップ 2：正しいファームウェアファイルを指定したら、“Upload”ボタンを押して、アップロードを開始します。
ご注意：アップロードが始まると、自動的に録画を停止します。下図のようにウインドウが表示されるので、OK ボタンを押して確定してください。

録画が停止すると、下図のようにファームウエアのアップロードが成功しました、というメッセージがシステムに表示されます。OK ボタンを押して確定してください。



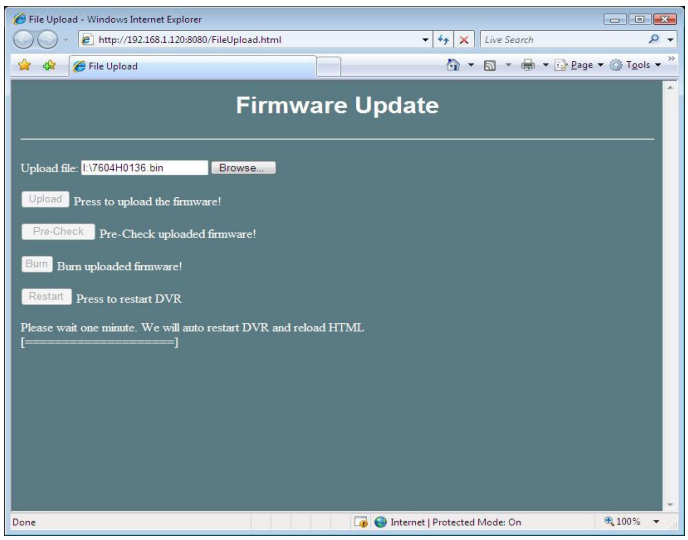
ステップ 3：完了したら、“Pre-Check”を押してファームウェアファイルの確認をします。確認が終わったら、確認作業が成功しました、というメッセージウインドウが表示されます。OK ボタンを押して確定してください。

ステップ 4：次に “Burn”を押してファームウェアのアップデートを開始します。
警告：ファームウェアアップデート中にネットワークを切断したり、ブラウザーを閉じないでください。ファームウェアアップデートにエラーが生じ、正常に動作しなくなります



ファームウェアのアップデートに成功したら、確認作業が成功しました、というメッセージウインドウが表示されます。
OK ボタンを押して確定してください。

ステップ 5：ファームウェアの書き換えが成功しました、というメッセージウインドーが表示されたら、 “OK”を押し、ファームウエアアップデートの作業が完了です。
“Restart”ボタンを押して、DVR を再起動してください。



9) ライブ監視ビデオ

ライブ画面の最下部にある ボタンを押すと、フルスクリーンで各チャンネル画面の切り替え操作ができます。

ライブ画面の最下部にある ボタンを押すと、4 分割モードのライブ監視画面になります。

10) PTZ コントロール

PTZ カメラをご利用の場合には、ライブ画面の右側のパネルで PTZ コントロールが可能です。
チャンネル/通信速度/プロトコルの設定ウインドウには PTZ カメラの仕様に合わせてパラメーターを入力してください。

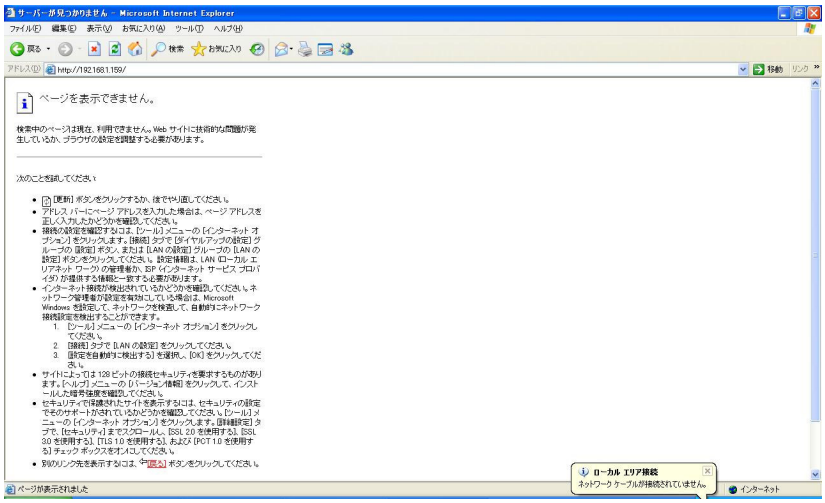
11) ローカル録画

画面の最下部にある “REC”を押すと、ライブ録画が開始し、PC にビデオファイルが保存されます。DVR 再生プログラムを介して録画ビデオの再生ができます。

ご注意：ビデオファイルの保存先となるフォルダの設定をしてください。デフォルト設定では c:\に保存されます。

9.2 リモート接続のトラブルシューティング

Q1: ブラウザを起動をさせ、DVR の IP:ポートを入力しても、以下のように”ページを表示できません。”というエラーメッセージが表示されてしまいます。



A1: PC のネットワーク接続と DVR のネットワーク設定を確認してください。IP アドレスが正確かどうか、DVR とネットワークの接続が正しいかどうかを調べてください。

Q2: ログインしても、DVR のウェブページでライブ映像が見れません。

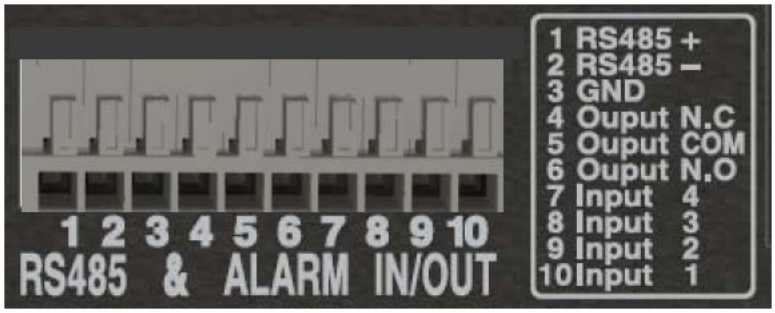
A2: VLC メディアプレイヤーソフトのダウンロードとインストールを行ってください。インストールしている間はブラウザ（IE/Firefox）を閉じ、ライブ映像の再生に必要な ActiveX Plugin(IE)と Mozilla Plugin(Firefox)コンポーネントがインストールされているか確認してください。

ご注意: VLC プレイヤー(http://www.videolan.org/vlc) V0.98a は、下記の URL よりダウンロードすることができます。

http://download.videolan.org/pub/videolan/vlc/0.9.8a/win32/vlc-0.9.8a-win32.exe

付録 1: アラーム入力/出力

1. ピンの説明



ピン番号	ピンの説明
1	RS485+
2	RS485 -
3	GND
4	リレー出力 N.C
5	リレー出力 COM
6	リレー出力 N.O
7	センサー入力 4
8	センサー入力 3
9	センサー入力 2
10	センサー入力 1

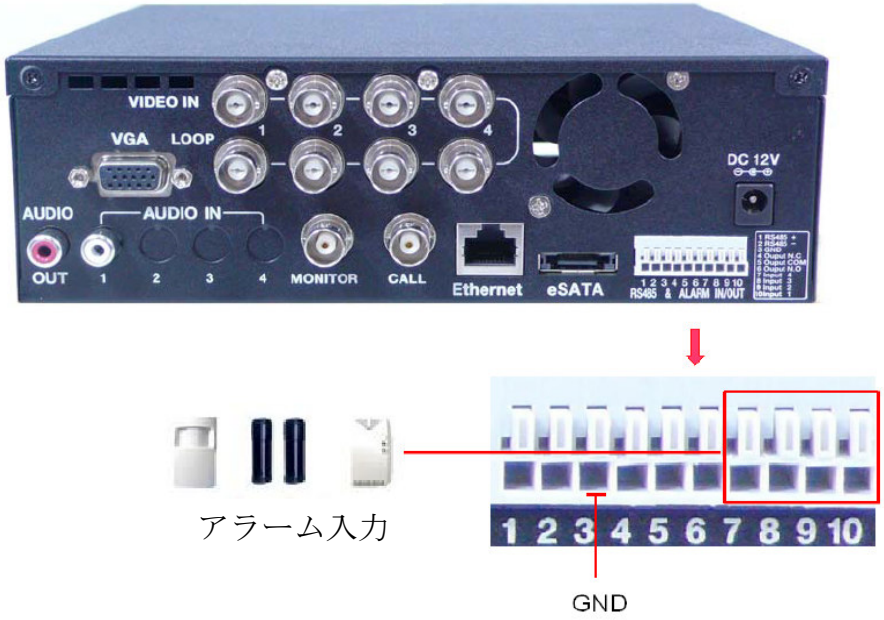
2. 接続

DVR には 4 つの入力ポートがあり、リードスイッチや赤外線探知機などの外付けアラームデバイスと接続できます。各入力ポートは、接続する装置のタイプに合せてそれぞれ NO 又は NC に設定できます。アラームタイプについては DVR アラーム入力設定ページを参照ください。アラーム入力デバイスが作動すると、アラーム信号が DVR に送信され、アラーム出力信号がアラーム出力デバイスに送信されます。

アラームディバイスとの接続を確実にするため、ボタンを押しながら、シグナルケーブルのベアワイヤーをピンコネクタに差し込みます。ボタンを離し、正しく接続されていることを確認するため、軽くシグナルケーブルを引っ張ります。シグナルケーブルを取り外すには、ボタンを押し下げて、ピンコネクタからシグナルケーブルを抜き取ります。

2.1 センサー (アラーム) 入力

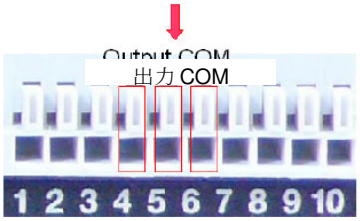
まず最初に、お手持ちのアラーム入力デバイスに接地が必要かどうか、DVR デバイスの GND(ポート 3)ポートに接続するのかどうかを確認してください。外付けアラームデバイスからのイベントシグナルは、DVR デバイスの入力 1～4(ポート 7～10)に接続します。DVR との接続には、アラーム入力と接地ポートに機械式スイッチ、又は電気スイッチを取り付けてください。詳しい接続方法は、下図を参照してください。



2.2 リレー (アラーム) 出力

アラーム出力ポートにはリレーデバイスとしてごく一般的なものが利用できます。高電流負荷装置には接続できません。二つのアラーム出力は、出力 N.C(ポート 4)と出力 N.O(ポート 6)を通して外部アラームデバイスに接続され、アラームデバイスの接地線が出力 COM(ポート 5)に接続されます。詳しい接続方法は、下図を参照してください。

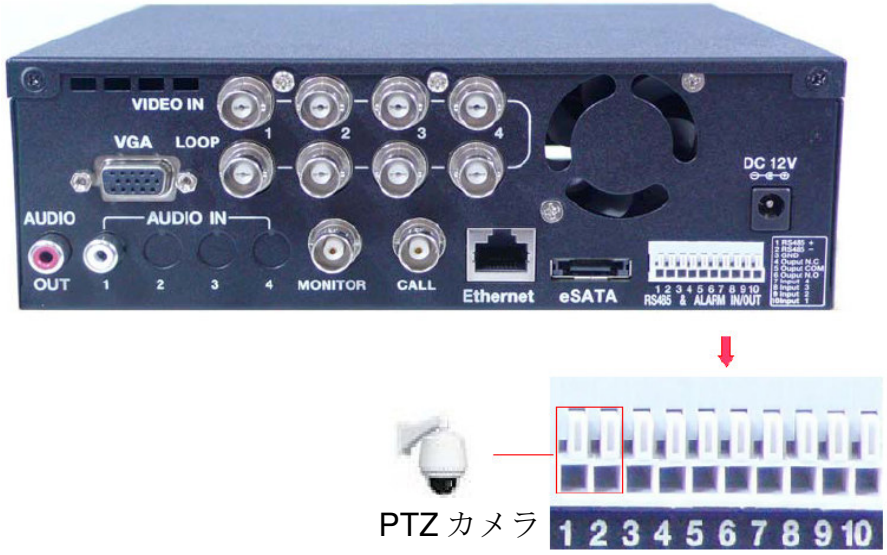
VIDEO IN
1
2
3
4
VGA
LOOP
DC 12V
AUDIO
AUDIO IN
OUT
1
2
3
4
MONITOR
CALL
Ethernet
eSATA
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
RS485 & ALARM IN/OUT


出力 COM
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

2.3 RS-485

RS485 は、DVR にある RX+と RX-のポート 1 とポート 2 に RS485+と RS485-が接続されており、PTZ カメラは、その RS485 ポートを介して遠隔操作されます。

詳しい接続方法は、下図を参照してください。



PTZ カメラ

手順:

1. DVR のリアパネルにある RS485+と RS485- (port1 と port2)にケーブルを接続してください。
2. ケーブル逆端を PTZ カメラにあるコントロールコネクタに接続します。
3. ビデオケーブルを PTZ カメラから DVR のビデオ入力ポートのいずれかに接続してください。
4. 適切な PELCO-P/PECLO-D プロトコルと PTZ カメラに対応した通信速度を選択してください。詳しい操作方法は PTZ カメラの取扱説明書を参照ください。

付録 2: CF カード互換性リスト

メーカー名	容量	速度
A-DATA	4GB	266X
	8GB	Speedy
Apacer	4GB	300X
Hagiwara	4GB	300X
Kingston	1GB	N/A
	4GB	266X
Pertec	16GB	233X
PQI	4GB	300X
RIDATA	4GB	266X
	8GB	233X
	16GB	233X
	32GB	133X
SanDisk	2GB	N/A
	4GB	266X
Transcend	2GB	266X
	32GB	133X

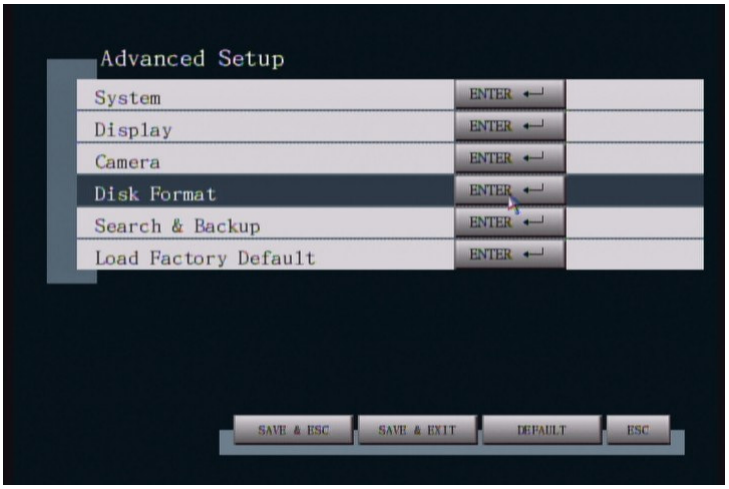
付録 3. DVR ファイルのバックアップから再生までの手引き

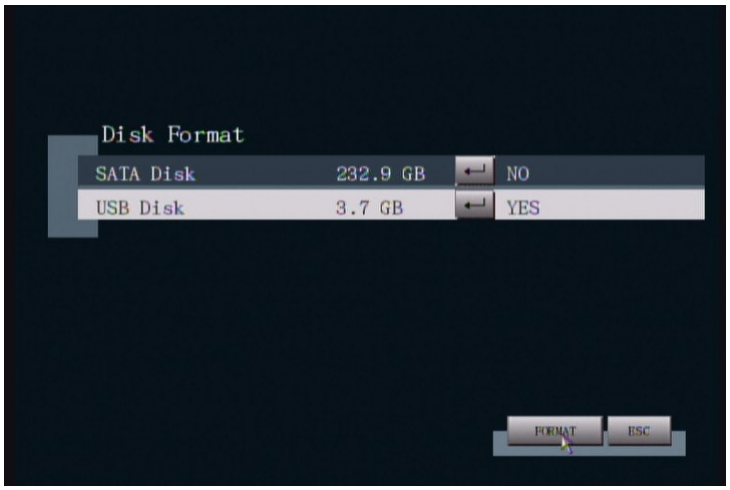
(I)事前のフォーマット化：

注意：USB ポートから以前に記録した過去データをバックアップされたい場合、USB デバイスが DVR により正確に認識され、データバックアップがきちんと行われるようにするために、まず DVR により USB デバイスをフォーマットされることを推奨されます。ステップは以下の通りです:

(1) USB デバイスを DVR の正面にある USB ポートに差し込んでください。

(2) Menu（メニュー）=> Advanced（アドバス）=> Disk Format（ディスクのフォーマット）を入力し、USB ディスクを選択して、フォーマット化を実行ください。

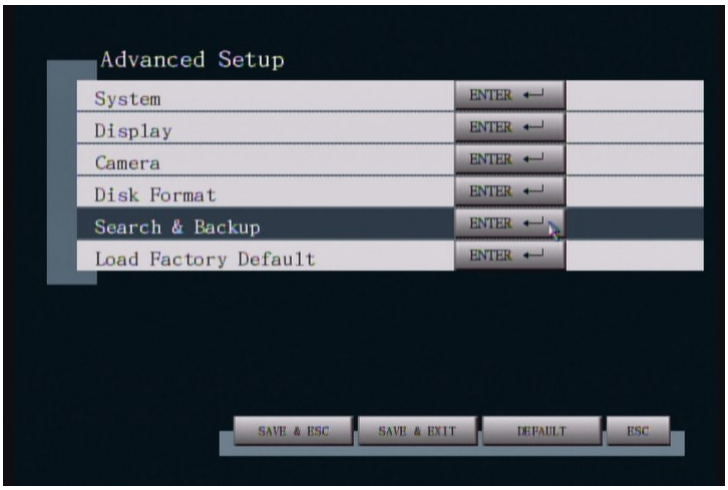




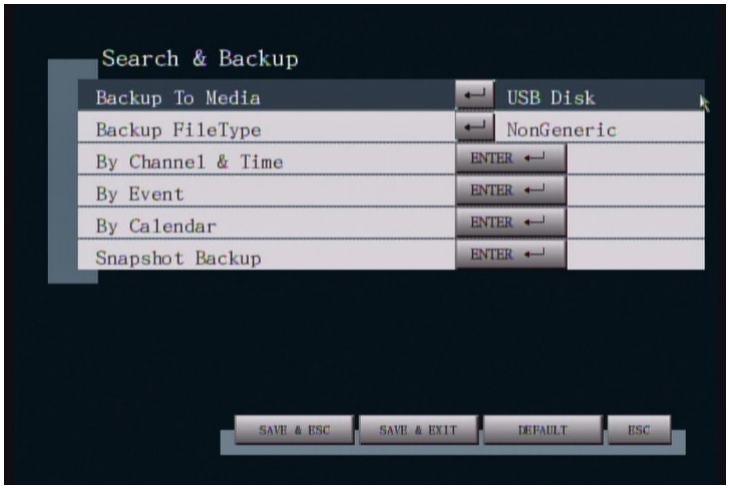
(II) フォーマットが完成すると、記録された過去データがバックアップされます：

(1) USB デバイスを DVR の正面にある USB ポートに差し込んでください。

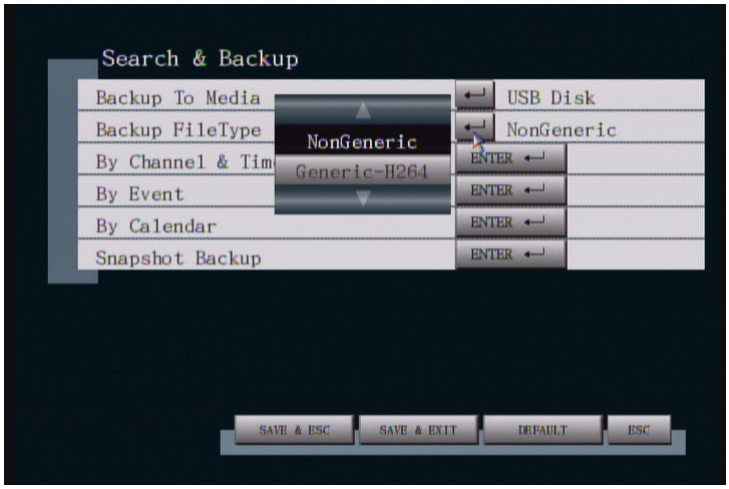
(2) Menu（メニュー） => Advanced（アドバス） => Search & Backup を入力し。



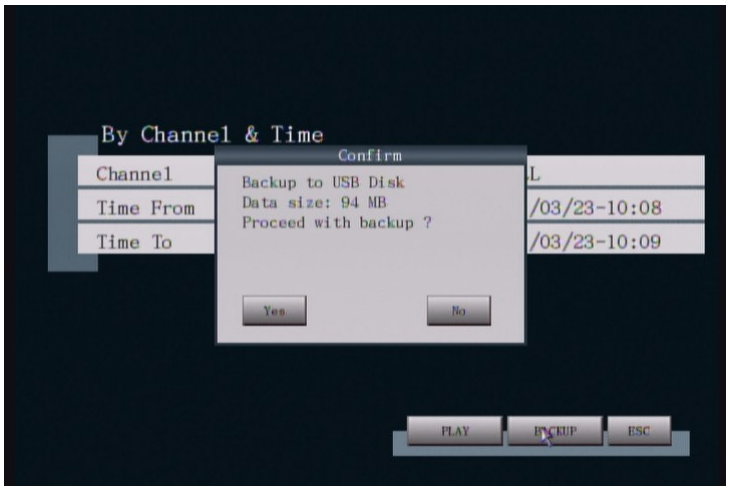
(3) USB デバイスがきちんと挿入されていれば、USB ディスクがメディアコラムのバックアップに現れます。



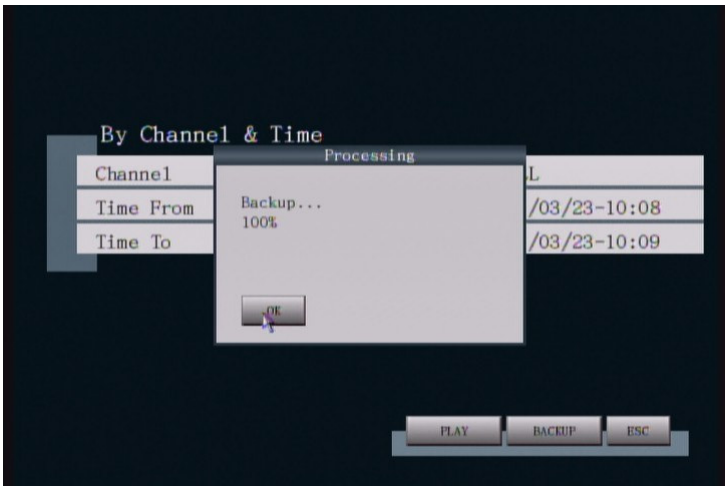
(4) 続いて、バックアップファイルタイプ（NonGeneric（専用フォーマット）または Generic-H264（h.264 フォーマット））を選択ください。



(5)　　続いて、例えば「チャネル及び時間」によるバックアップ方法は以下の通りです。まずバックアップしたい「チャンネル/開始時間/終了時間」を選択すると、バックアップのファイルサイズが表示されます。続いて、「Yes(はい)」ボタンを押してバックアップを起動させます。

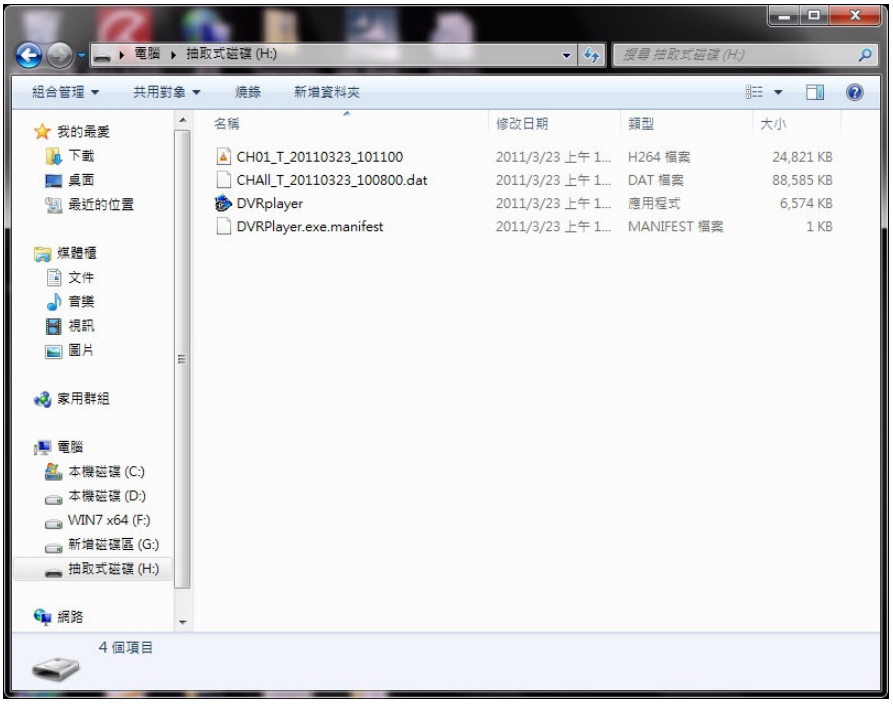


(6)　　バックアップ終了後、下記の図のようにプロンプトが表示されます。



（Ⅲ）バックアップ終了後、ファイルがUSBデバイスに存在します:

(1)　　バックアップ終了後、どちらのファイルが存在するべきですか?



1. DVRPlayer.exe => バックアップ終了後のDVR自身のバックアッププログラムで、以下の2つのフォーマットを再生することができます:
   - NonGeneric (*.dat 専用フォーマットファイル)
   - Generic-H264 (*.h264 フォーマットファイル)
2. *.h264 フォーマットファイル => Generic-H264が選択された場合、バックアップされるファイルです。
3. *.dat 専用フォーマットファイル => NonGeneric が選択された場合、バックアップされるファイルです。

(2)　　*.h264 フォーマットファイル: VLCプレイヤーでも再生できます。